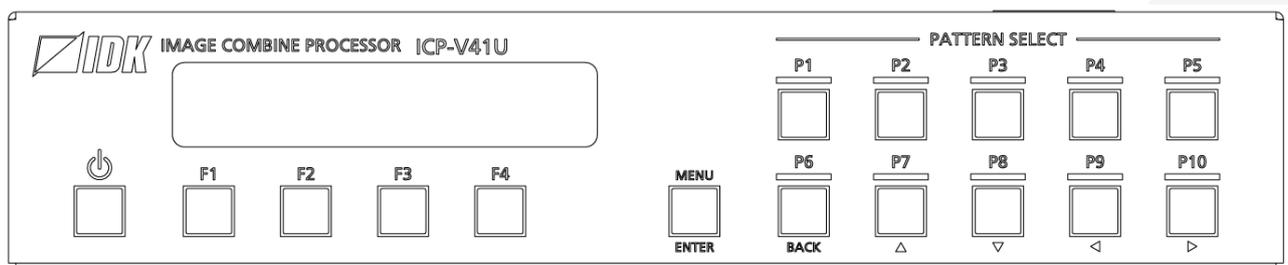


マルチビューアー
ICP-V41U

オペレーションガイド
Ver.1.0.0



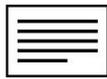
このたびは IDK 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をお読みにになり、正しく安全にご使用ください。お読みにになった後は大切に保管してください。

- 製品のバージョンにより、本書に記載されている外観図やメニューなどが異なる場合があります。
- 製品のデザイン、仕様、および外観は、予告なく変更する場合があります。
- 本書には著作権が含まれており、本書の一部またはすべての無断転載を禁じます。
- 最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードできます。

www.idk.co.jp

マニュアルの構成

■はじめにお読みください。

<p>1. 安全上のご注意 製品を安全に使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。</p>	 製品同梱
<p>2. 設置ガイド 付属品、設置時の注意、および接続の準備など設置に関する情報を説明しています。</p>	

■目的に応じてお読みください。

<p>3. オペレーションガイド 基本的な使い方(HOW TO)を説明しています。</p>	 www.idk.co.jp ダウンロード
<p>4. テクニカルガイド 機能、制限事項、および設定内容について説明しています。</p>	
<p>5. コマンドガイド RS-232C 通信や LAN 通信を用いて本機を制御する通信コマンドについて説明しています。</p>	

商標について

- HDBaseT™ および HDBaseT アライアンスロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SDVoE™ および SDVoE ロゴは、SDVoE Alliance の商標です。
- その他、本書内に記載されている各種名前、および会社名は、各社の商標または登録商標であり、これを当社は十分尊重いたします。なお、本文中では®マークや™マークは明記していません。
- ©2023 IDK Corporation, all rights reserved.

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止

●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・AC アダプターは傷つけない</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工したり、過熱したりしない 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・AC アダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



注意

設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 <p>高温面注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ●定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

本書について	8
表記と記載	8
本機について	9
付属品	9
各部の名称	10
設置時の注意点	12
外部機器との接続	13
HDMI 機器を接続する	13
アナログ音声機器を接続する	14
制御機器を接続する	15
アドバンスメニューの表示	16
フロントパネルの操作	17
本機を起動する	17
本機をスタンバイ状態にする	17
メニューを操作する	18
レイアウトを呼び出す(P1 ~ P10)	19
ファンクションボタンに機能を割り当てる	20
フロントパネルボタンの誤操作を防止する	21
WEB ブラウザーの操作	22
WEB GUI を表示する	22
WEB ブラウザーを使用して本機の設定を変更する	23
WEB ブラウザーを使用して本機を制御する	24
WEB GUI で表示する名称を編集する	25
映像や音声を切り換える	27
映像と音声を同時に切り換える	28
映像と音声を個別に切り換える	28
映像の設定	29
出力解像度を変更する	29
ウインドウの表示位置を調整する	30
ウインドウの表示サイズを調整する	31
ウインドウ内の映像表示位置を調整する	32
ウインドウ内の映像表示サイズを調整する	33
入力映像をフルで表示する	34
入力映像をドットバイドットで表示する	36
ウインドウを非表示にする	37
ウインドウの優先順位を設定する	38
ウインドウのオーバーレイテキストを設定する	39
HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示する	41
Deep Color の入力を有効にする	42
Deep Color の出力を有効にする	43
テストパターンを出力する	44
出力映像設定を初期化する	45
入力映像設定を初期化する	46
音声の設定	47
音声レベルを調整する	47
アナログ入力音声を出力する	48
マルチチャンネル音声の入力を有効にする	49

マルチチャンネル音声の出力を有効にする	50
マルチチャンネル入力音声を下ミックスして出力する	51
圧縮音声の入力を有効にする	52
テストトーンを出力する	53
EDID の設定	54
EDID を選択する	54
内蔵 EDID の対応解像度情報を変更する	55
シンク機器の EDID をコピーする	56
ビットマップの表示	57
ビットマップファイルを保存する	58
ビットマップを表示する	59
入力チャンネルに OFF を選択したときにビットマップを表示する	60
入力映像信号がないときにビットマップを表示する	61
入力チャンネル自動切換の設定	62
入力チャンネルを自動で切り換える	62
自動切換の連続実行を防止する	64
通信の設定	65
RS-232C 通信を設定する	65
LAN 通信を設定する	66
プロジェクターの電源制御	67
RS-232C 通信で制御する	67
PLink(LAN 通信)で制御する	71
スクリーンの制御	75
コンタクトクローザーで制御する	75
ステータスの確認	78
入力信号の状態を確認する	78
出力信号の状態を確認する	79
シンク機器の EDID を確認する	80
ユーザープリセットの保存と呼び出し	81
本機の設定を保存する	81
本機の設定を呼び出す	82
クロスポイントを保存する	83
クロスポイントを呼び出す	84
レイアウトを保存する	85
レイアウトを呼び出す(1 ~ 32)	86
起動時にユーザープリセットを呼び出す	90
設定のバックアップとリストア	91
バックアップファイルを保存する	91
バックアップファイルから設定をリストアする	92
初期化	93
すべての設定を初期化する	93
通信設定以外を初期化する	94
その他の機能	95
シンク機器のスタンバイ機能を利用する	95
正常に動作しないときは	96

本書について

本書では外部機器との接続方法、基本操作方法、機能の使用方法、設定方法、および注意事項について説明しています。

操作説明ではフロントパネルのボタンを使用する方法を記載し、補足として WEB GUI を記載しています。WEB ブラウザーからのみ行うことができる操作は、WEB ブラウザーを使用する操作方法を記載しています。

表記と記載

- 以下の用語を使用しています。
 - PC : パーソナルコンピューター
 - WEB GUI : WEB ブラウザーで表示する GUI (グラフィックユーザーインターフェース)
 - OUT A : OUT 1A コネクター
 - OUT 1 : OUT 1A の出力チャンネル
 - INOFF : 入力チャンネル OFF
 - W1 : ウィンドウ 1
 - W2 : ウィンドウ 2
 - W3 : ウィンドウ 3
 - W4 : ウィンドウ 4
- 以下の記号を使用しています。
 - [] : フロントディスプレイと WEB GUI に表示されるメニュー名およびメッセージ
 - “ ” : 参照先
- 注記を以下のように区別しています。
 - Note** : 操作に関連する制限事項や十分に注意していただきたいこと
 - Tip** : 操作に関連する補足説明や役立つ情報

本機について

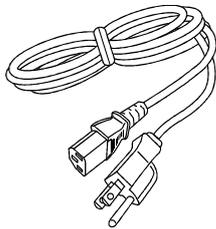
ICP-V41U は、最大 4 入力の映像信号を任意のレイアウトで 1 画面に合成できるマルチビューアーです。映像入力 は HDMI 4 系統です。入力された映像信号は最大 4K@60 に変換し、HDMI 信号で出力します。音声入力 は HDMI 4 系統とアナログ音声 1 系統です。入力された音声信号は、デジタル音声とアナログ音声に分配出力します。

LAN と RS-232C から本機を遠隔操作できます。LAN、RS-232C、CEC、またはコンタクトクローザーに接続された外部機器を制御できます。

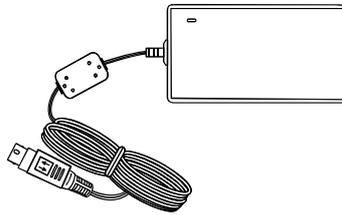
付属品

付属品がすべてそろっているか確認してください。

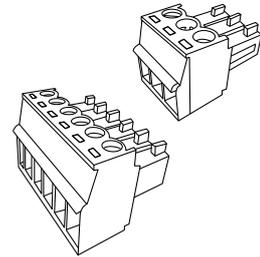
万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、弊社の本社営業部または各営業所にご連絡ください。



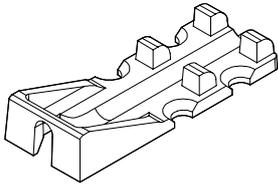
電源コード (1.8 m) × 1



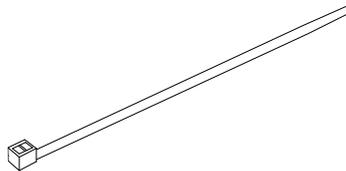
専用 AC アダプター (1.2 m) × 1



ターミナルブロック (3 ピン) × 3
ターミナルブロック (6 ピン) × 1



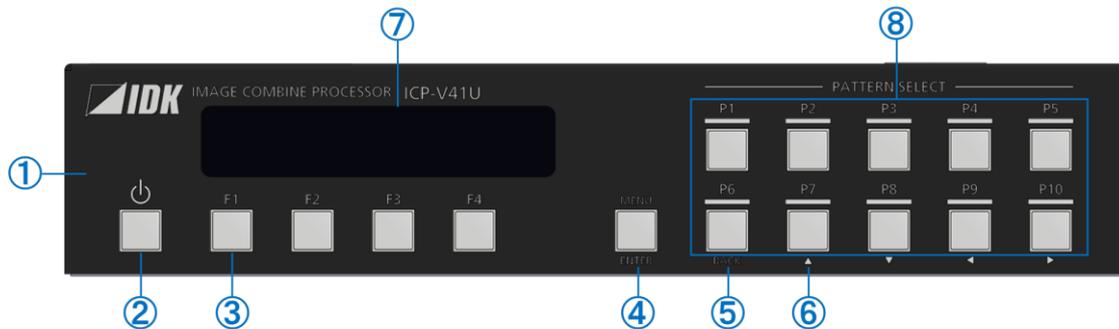
ケーブル固定ブラケット × 5



結束バンド × 5

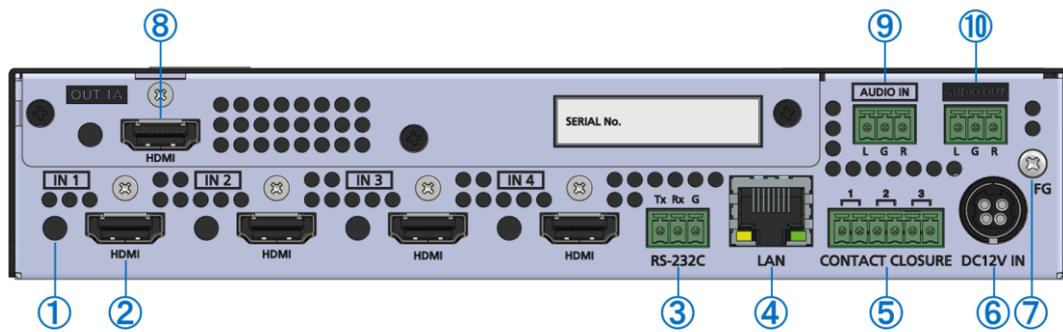
各部の名称

前面



①	フロントパネル 本機を操作するためのボタンおよびフロントディスプレイが配置されています。
②	電源ボタン (⏻ ボタン) 本機を起動またはスタンバイにします。
③	ファンクションボタン (F ボタン) 割り当てられた機能を実行します。
④	MENU/ENTER ボタン メニューをフロントディスプレイに表示します。 メニューを選択し、設定を決定します。 メニュー表示時にメニュー階層を進みます。
⑤	BACK ボタン メニュー表示時にメニュー階層を戻ります。
⑥	上下左右ボタン (△▽◀▶) メニュー表示時にメニューの切り換え、カーソルの移動、および設定値の変更をします。
⑦	フロントディスプレイ メニュー、設定対象、および設定値を表示します。
⑧	パターン選択ボタン レイアウトを呼び出します。

背面

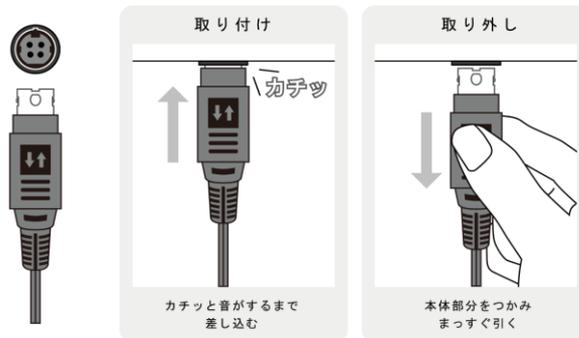


①	コードクランプ固定穴 (未使用)
②	HDMI 入力
③	RS-232C
④	LAN
⑤	コンタクトクロージャ
⑥	DC 入力
⑦	フレームグランド (M4 ねじ)
⑧	HDMI 出力
⑨	アナログ音声入力
⑩	アナログ音声出力

設置時の注意点

設置するときの注意について説明します。

- ・ 本機の FG(フレームグランド)端子を屋内のアース端子に接続してください。電位差による機器の故障や障害を軽減します。
- ・ 本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあるため、以下の点にご注意ください。
 - 本機を積み重ねて使用しないでください。
 - 本体の開口穴は通風孔です。通風孔はふさがないでください。
 - 周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
 - 使用温度範囲は、0°C ~ +40°C です。
 - 弊社の取付金具(別売)を使用する場合は、取付金具の取扱説明書を参照してください。
- ・ AC アダプターの DC プラグは、カチッと音がするまで本機の DC 入力端子に差し込んでください。AC 電源は、すべてのケーブルを接続した後に投入してください。また、DC 入力端子から DC プラグを抜く場合は、DC プラグの本体部分をつかんでまっすぐ引き抜いてください。



外部機器との接続

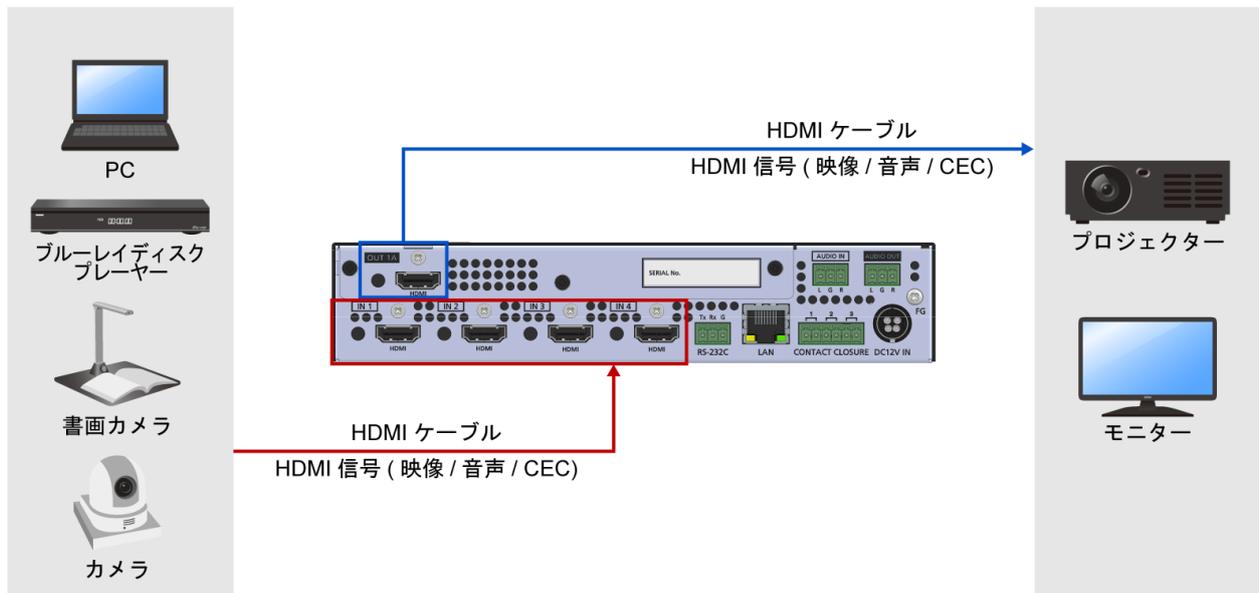
入力機器や出力機器、制御機器などとの接続について説明します。

Notes

- ・ ケーブルを接続する前に、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- ・ すべての機器の電源を遮断した状態で接続してください。
- ・ コネクタおよびケーブルにストレスを与えないように敷設してください。

HDMI 機器を接続する

本機と HDMI 機器を HDMI ケーブルで接続します。



Notes

- ・ ケーブルの種類、品質、敷設状態、接続する機器、および設置状況などにより、映像が乱れることや出力されないことがあります。
- ・ ケーブルジョイントなどを使用して HDMI ケーブルを延長した場合は、映像が乱れることや出力されないことがあります。

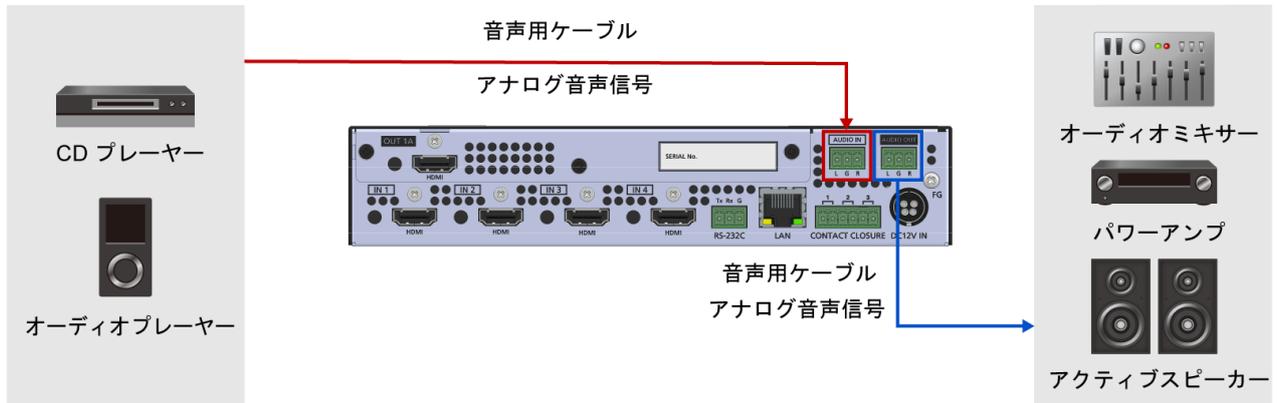
ケーブル固定ブラケット(FB-01 弊社製品専用)で HDMI ケーブルを固定する

HDMI ケーブルの抜け落ち防止のため、HDMI ケーブルをケーブル固定ブラケットと結束バンドで以下のよう固定してください。

-
- ① ケーブルをコネクタに接続する。
 - ② コネクタ上部のねじを緩める (6 回転程度)。
 - ③ 固定ブラケットをコネクタ上部のねじに引っ掛け、固定ブラケットをケーブルに密着させる。
 - ④ ねじを締めて固定ブラケットを固定する (締めすぎに注意)。
 - ⑤ 固定ブラケットとケーブルの根本を結束バンドで締める。
 - ⑥ 余った部分をカットする。

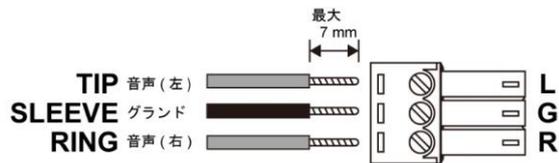
アナログ音声機器を接続する

本機とアナログ音声機器を音声用ケーブルで接続します。



Tip

ターミナルブロックと音声用ケーブルは、以下のように接続してください。

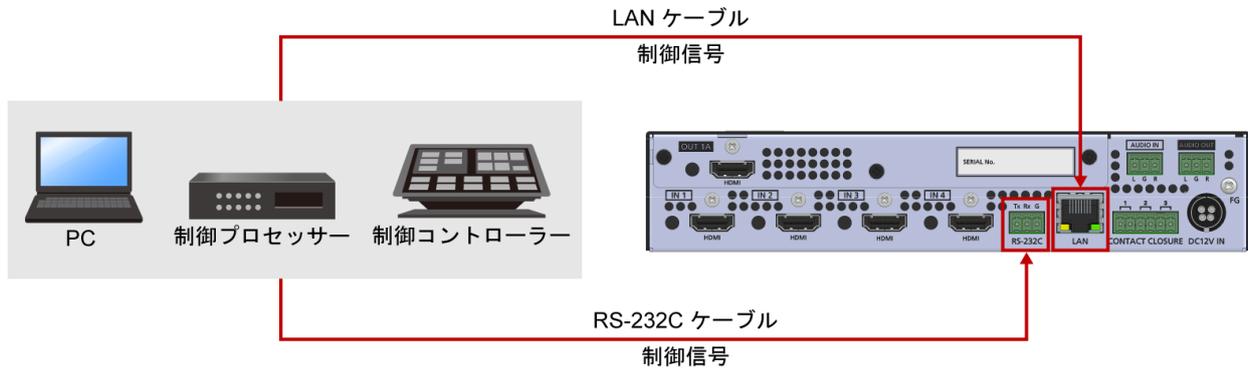


推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16

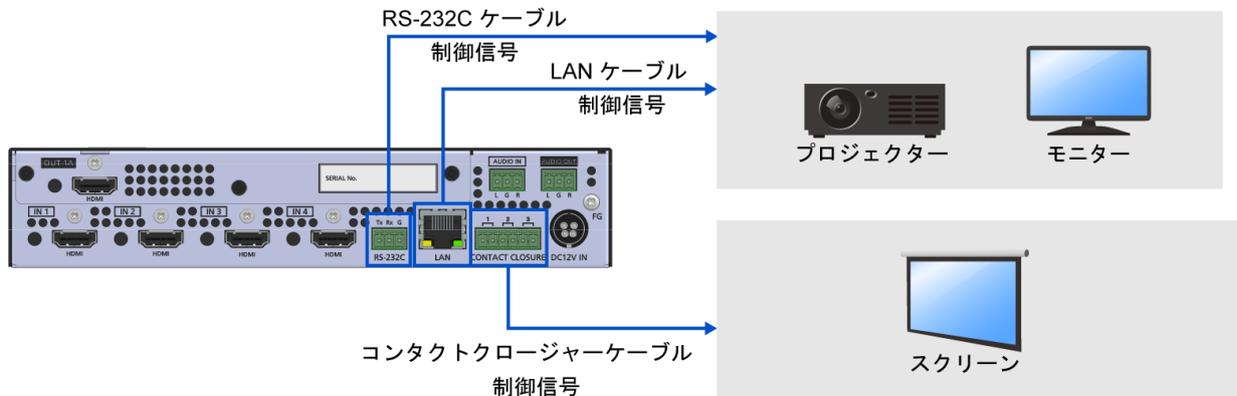
最大剥き線長さ: 7 mm

制御機器を接続する

外部機器から本機を制御する場合は、本機と外部機器を制御用ケーブルで接続します。



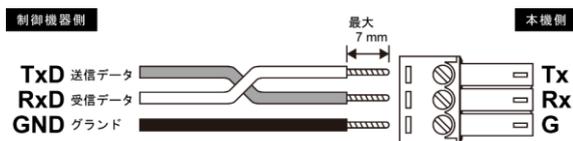
本機から外部機器を制御する場合は、本機と外部機器を制御用ケーブルで接続します。



Tip

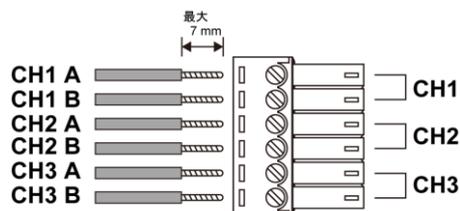
ターミナルブロックと制御用ケーブルは、以下のように接続してください。

RS-232C ケーブル



推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16
最大剥き線長さ: 7 mm

コンタクトクローザーコネクターケーブル



推奨ケーブル : AWG 28 ~ AWG 16
最大剥き線長さ: 7 mm

アドバンストメニューの表示

本機のメニューは、使用頻度の高いベーシックメニューと、より詳細な設定ができるアドバンストメニューで構成されています。初期値では表示されないアドバンストメニューを表示する方法について説明します。

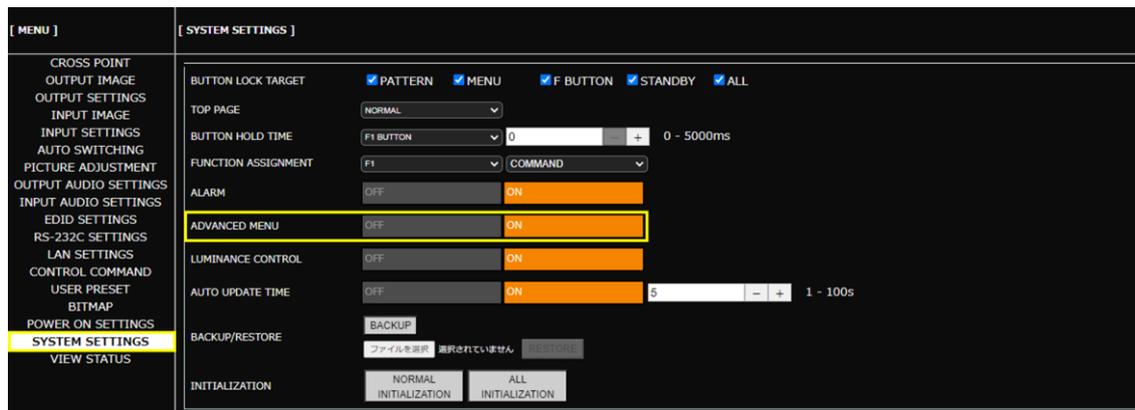
本書では、アドバンストメニューを用いる操作タイトルの右下に、以下の表示をしています。

アドバンスト

フロントパネル

1. [SYSTEM SETTINGS]→[ADVANCED MENU]を選択します。
2. [ON]を選択します。

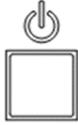
WEB GUI



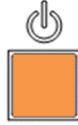
フロントパネルの操作

フロントパネルのボタンの機能、使用方法、およびボタンロックについて説明します。

本機の起動状態は、電源ボタンの点灯状態で確認できます。



消灯: 電源なし



点灯 (橙色): スタンバイ

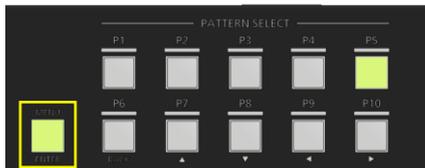


点灯 (緑色): 起動

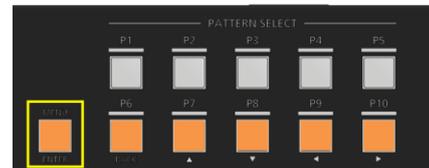
Note

電源の投入は、すべてのケーブルを接続した後に行ってください。

MENU/ENTER ボタンまたは BACK ボタンを押すと、実行可能な操作が切り換わります。実行可能な操作は、MENU/ENTER ボタンの点灯色で確認できます。



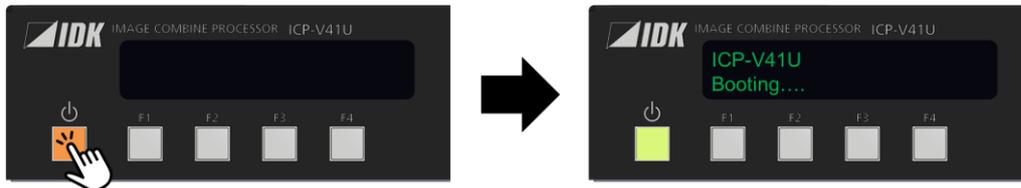
緑色に点灯: レイアウト選択が可能



橙色に点灯: メニュー操作が可能

本機を起動する

1. 電源ボタンを押して起動します。
起動すると、電源ボタンが緑色に点灯します。

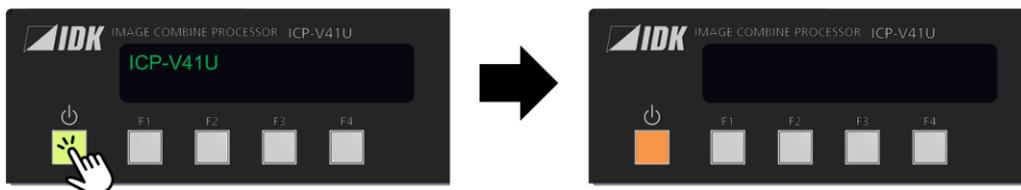


Notes

- ・ 起動から操作を受け付けるまでにかかる時間は、最長 12 秒です。
- ・ 電源ボタンが消灯しているときは、AC アダプターを接続して電源を投入してください。

本機をスタンバイ状態にする

1. 電源ボタンを 1 秒間長押しして、スタンバイ状態にします。
スタンバイ状態になると、電源ボタンが橙色に点灯します。



メニューを操作する

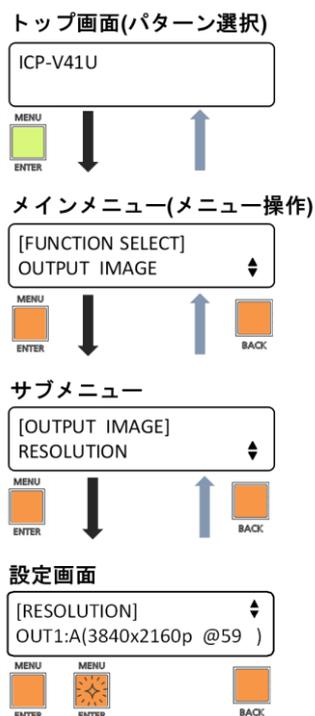
メニュー操作に使用するボタンは、MENU/ENTER ボタン、BACK ボタン、および上下左右ボタン(△▽◀▷)です。点灯しているボタンのみ操作可能です。

メニューは階層構造になっています。MENU/ENTER ボタンを押すと次の階層に進み、BACK ボタンを押すとひとつ前の階層に戻ります。

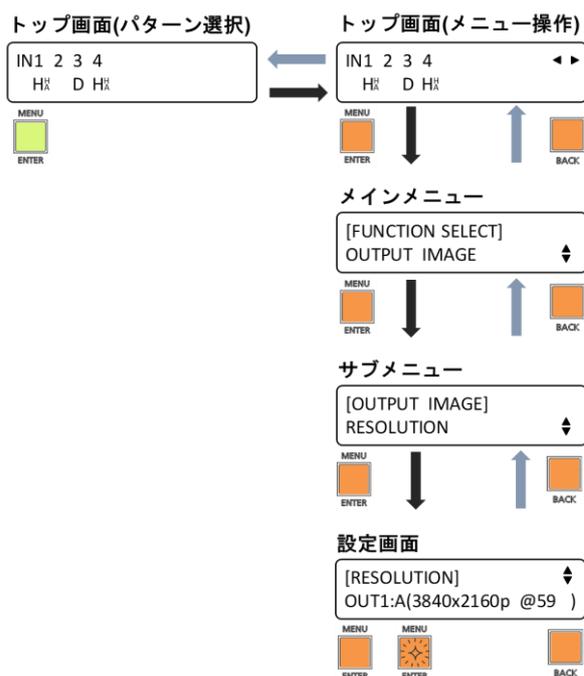
△▽◀▷ボタンを使用し、メインメニュー、サブメニュー、および設定値を選択します。

MENU/ENTER ボタンが点滅している場合は、MENU/ENTER ボタンを押して、設定を更新します。

トップ画面に機種名を表示している場合



トップ画面に機種名以外を表示している場合

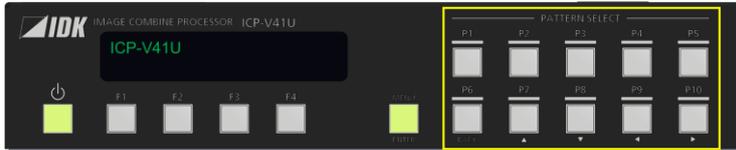


Tip

初期値では、使用頻度の高いベーシックメニューが表示されます。より詳細な設定ができるアドバンスドメニューの表示方法は、“アドバンスドメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

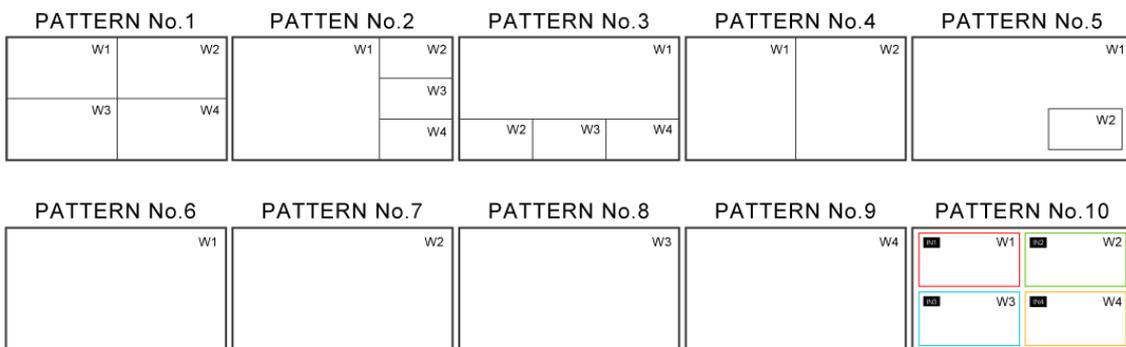
レイアウトを呼び出す(P1 ~ P10)

1. BACK ボタンを押して、MENU/ENTER ボタンが緑色に点灯するまでメニュー階層を戻ります。
2. 呼び出すレイアウトのパターン選択ボタンを押します。



Tips

- ・ フロントパネルのパターン選択ボタンからは、PATTERN1 ~ PATTERN10 のみ呼び出すことができます。PATTERN11 ~ PATTERN32 を呼び出す場合は、“レイアウトを呼び出す(1 ~ 32) (P.86)”を参照してください。
- ・ 初期値では、パターンメモリーに以下のレイアウトが保存されています。



* ウィンドウ枠および
オーバーレイテキスト表示

ファンクションボタンに機能を割り当てる

1. [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
2. 設定するファンクションボタンを選択します。
3. ファンクションボタンを押したときに実行する機能を選択します。
 - [COMMAND] : 制御コマンドボタンとして、ファンクションボタンに関連付けた制御コマンドを実行します。
 - [DISPLAY POWER] : シンク機器の電源制御用ボタンとして、ファンクションボタンに関連付けた制御コマンドを実行します。
 - [CROSSPOINT] : 本機に保存したクロスポイントメモリーを呼び出します。
 - [PRESET MEMORY] : 本機に保存したプリセットメモリー呼び出します。

Notes

- ・ [COMMAND]を割り当てた場合は、制御コマンド実行中にフロントボタンは操作できません。
- ・ [DISPLAY POWER]を割り当てた場合は、制御コマンド実行中でも[DISPLAY POWER]を割り当てているファンクションボタンは実行できます。

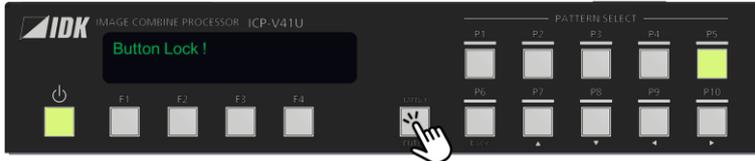
Tips

- ・ ファンクションボタンでプロジェクターの電源制御をする場合は、“**プロジェクターの電源制御 (P.67)**”を参照してください。
- ・ ファンクションボタンでスクリーンを制御する場合は、“**スクリーンの制御 (P.75)**”を参照してください。
- ・ パターンメモリー、クロスポイントメモリー、およびプリセットメモリーについては、“**ユーザープリセットの保存と呼び出し (P.81)**”を参照してください。
- ・ 制御コマンドの詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

フロントパネルボタンの誤操作を防止する

フロントパネルボタンをロックする

1. MENU/ENTER ボタンを 2 秒間長押しします。
ロックされると、フロントディスプレイに[Button Lock !]と表示されます。



Tip

電源ボタンおよびパターン選択ボタン以外のロックされたボタンは消灯します。

フロントパネルボタンのロックを解除する

1. MENU/ENTER ボタンを 2 秒間長押しします。
ロックが解除されると、フロントディスプレイに[Button Lock Release !]と表示されます。



フロントパネルボタンのロック対象を選択する

1. [SYSTEM SETTINGS]→[BUTTON LOCK TARGET]を選択します。
2. ロックするボタン(グループ)を[LOCK]に設定し、ロックしないボタンを[UNLOCK]に設定します。
[PATTERN] : パターン選択ボタン
[MENU] : MENU/ENTER ボタン、BACK ボタン、上下左右ボタン (△▽△▽)
[F BUTTON] : ファンクションボタン
[STANDBY] : 電源ボタン

Tip

ファンクションボタンにはロック以外の誤操作防止として、長押し時間を設定できます。
詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

WEB ブラウザーの操作

本機は WEB サーバーを内蔵しているため、WEB GUI で本機の制御や状態の確認ができます。接続した PC の WEB ブラウザーを使用して本機を制御する方法について説明します。

WEB GUI を表示する

1. 本機に接続する PC のネットワークを設定します。
本機の IP アドレスが初期値の場合は、PC のインターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)を設定します。
例
IP アドレス : 192.168.1.100
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ: 空欄
2. 本機の LAN コネクタと PC を接続します。
3. PC 上で WEB ブラウザーを起動します。
4. WEB ブラウザーのアドレスバーに **http://192.168.1.199** と入力します。

Note

WEB GUI を表示するには、WEB ブラウザーの JavaScript が有効になっている必要があります。

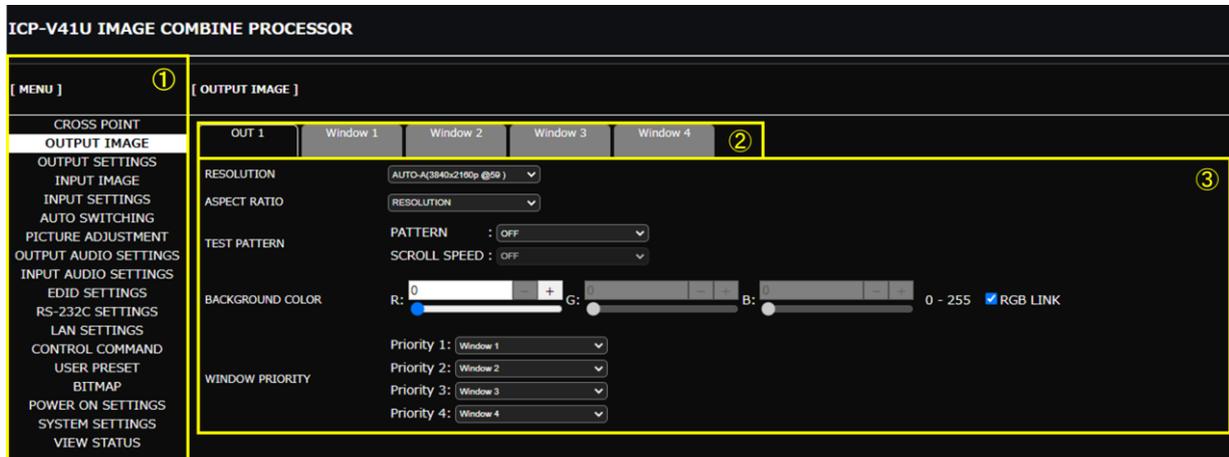
Tip

本機の IP アドレスを設定または確認する場合は、“**LAN 通信を設定する (P.66)**”を参照してください。

WEB ブラウザーを使用して本機の設定を変更する

アドバンスト

1. メインメニューを選択します(①)。
2. 設定対象を選択します(②)。
3. 設定値を設定します(③)。

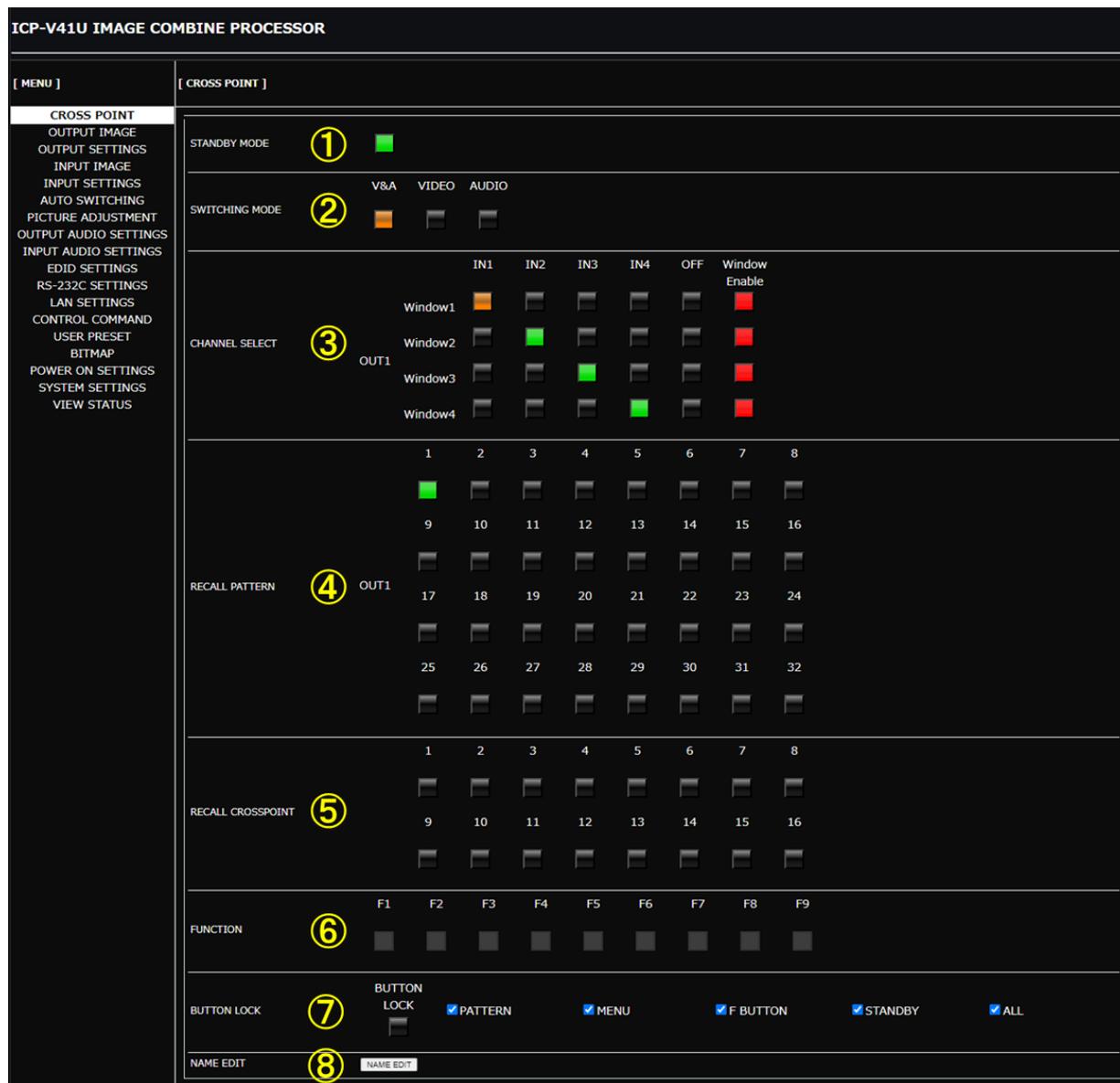


Tip

初期値では、使用頻度の高いベーシックメニューが表示されます。より詳細な設定ができるアドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

WEB ブラウザーを使用して本機を制御する

1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. 制御する項目を設定します。



番号	サブメニュー	操作
①	[STANDBY MODE]	本機の起動状態を切り換えます。
②	[SWITCHING MODE]	入力映像や音声チャンネルを選択します。 WEB GUI の CHANNEL SELECT(③)からの操作にのみ有効な設定です。
③	[CHANNEL SELECT]	入力チャンネルを選択し、映像や音声を切り換えます。 ウインドウの表示/非表示を選択します。
④	[RECALL PATTERN]	本機に保存したレイアウトを呼び出します。
⑤	[RECALL CROSSPOINT]	本機に保存したクロスポイントメモリーを呼び出します。
⑥	[FUNCTION]	ファンクションボタンに割り当てた機能を実行します。
⑦	[BUTTON LOCK]	ボタンのロック/解除およびボタンロックの対象を選択します。
⑧	[NAME EDIT]	WEB GUI で表示する入力チャンネルなどの名称を編集します。

WEB GUI で表示する名称を編集する

1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. [NAME EDIT]を選択します。
[NAME EDIT]ウインドウが開きます。
3. 名称を半角英数字で入力します。

The screenshot shows a dark-themed web interface with several text input fields. On the left, labels are listed: INPUT1, INPUT2, INPUT3, INPUT4, OUTPUT1, FUNCTION1, FUNCTION2, FUNCTION3, FUNCTION4, FUNCTION5, FUNCTION6, FUNCTION7, FUNCTION8, FUNCTION9, and DEVICE. On the right, corresponding input fields contain the text: IN1, IN2, IN3, IN4, OUT1, F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, F8, F9, and ICP-V41U IMAGE COMBIN. Four yellow circles with numbers 1 through 4 are placed to the right of the labels: 1 next to INPUT3, 2 next to OUTPUT1, 3 next to FUNCTION5, and 4 next to DEVICE.

①入力チャンネル名称
最大 10 文字

②出力チャンネル名称
最大 10 文字

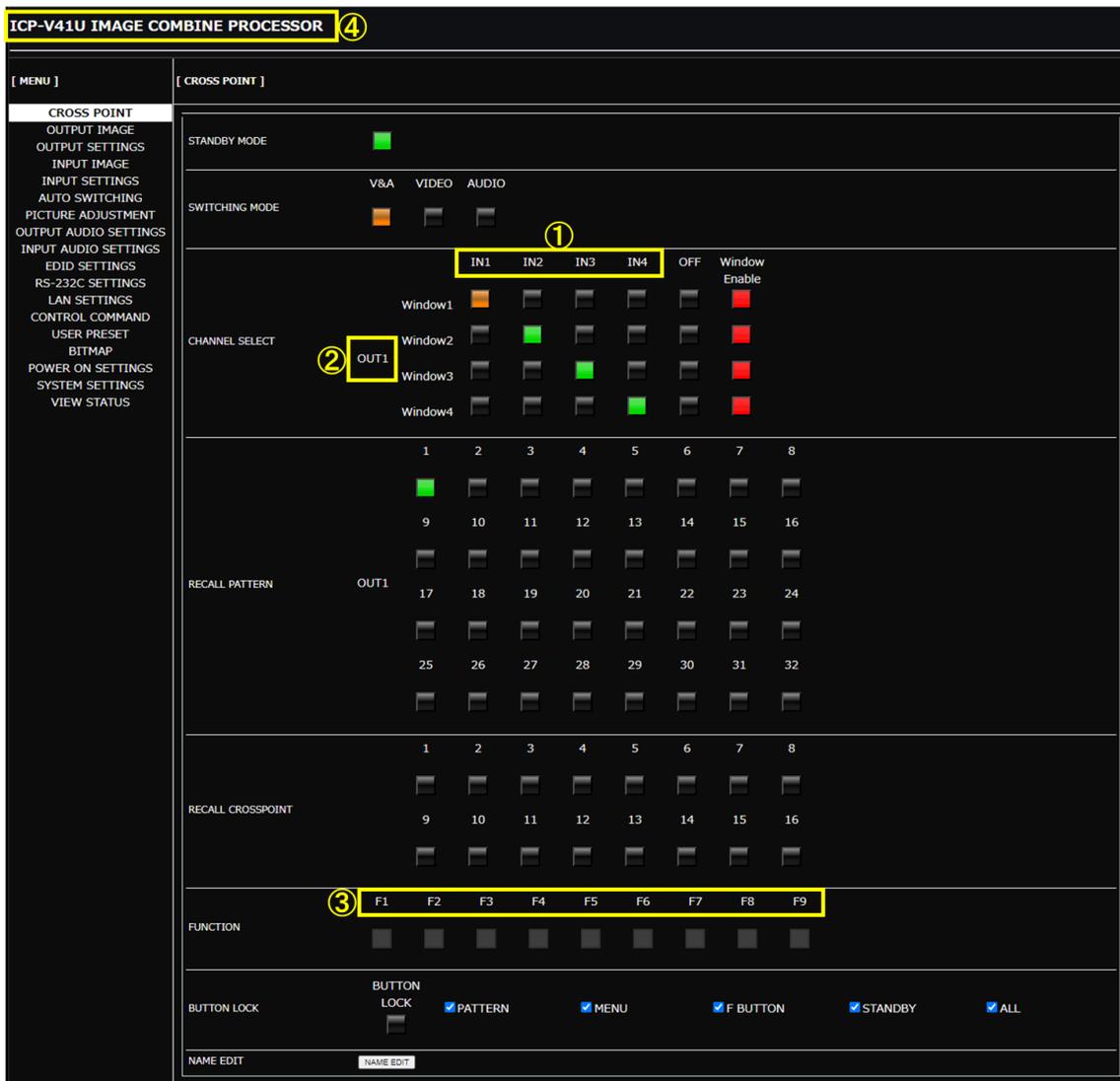
③ファンクションボタン名称
最大 10 文字

④本機の名称
最大 40 文字

Tip

本メニューで編集した入力チャンネル名は、オーバーレイテキストとしても表示されます。

4. [×]を押します。
[NAME EDIT]画面が閉じて、編集した名称が表示されます。



映像や音声を切り換える

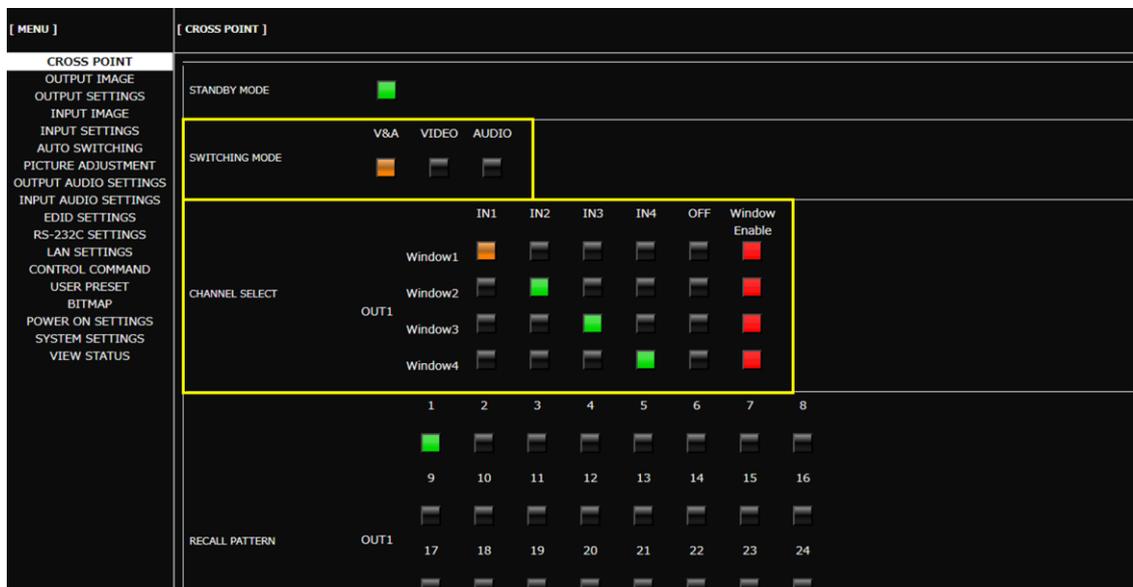
設定したスイッチングモードに応じて、映像および音声切り換わります。

- [V&A] : 映像と音声が同時に切り換わる
- [VIDEO] : 映像のみが切り換わる
- [AUDIO] : 音声のみが切り換わる

デジタル音声出力およびアナログ音声出力は、ウインドウ 1 に選択した音声入力チャンネルの音声が出力されます。

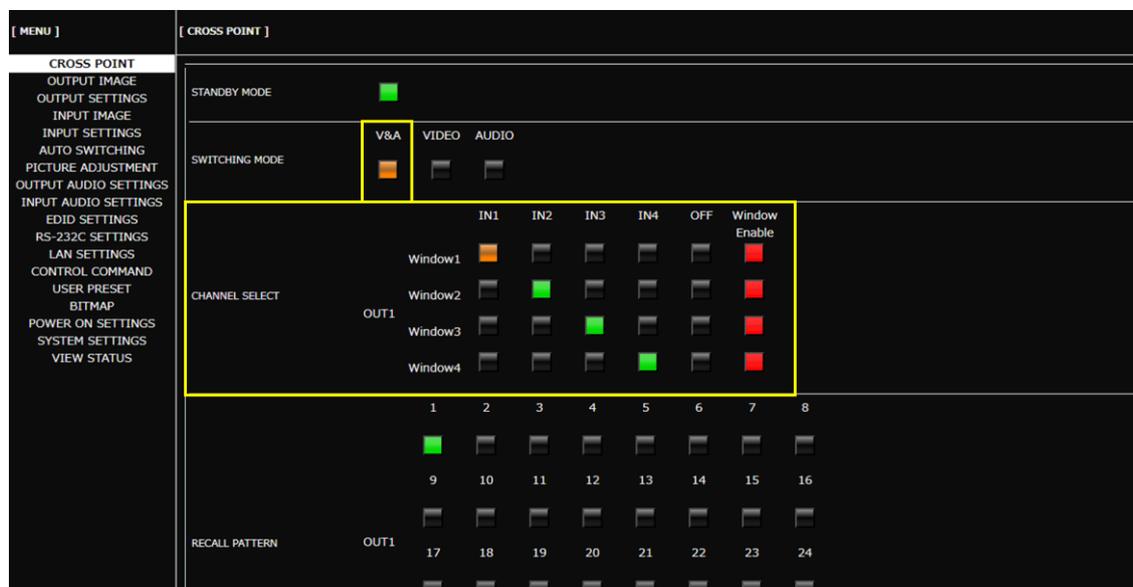
なお、選択している信号は、[CHANNEL SELECT]の点灯色で確認できます。

- 点灯 (橙色) : 映像と音声が選択されている
- 点灯 (緑色) : 映像のみが選択されている
- 点灯 (赤色) : 音声のみが選択されている



映像と音声を同時に切り換える

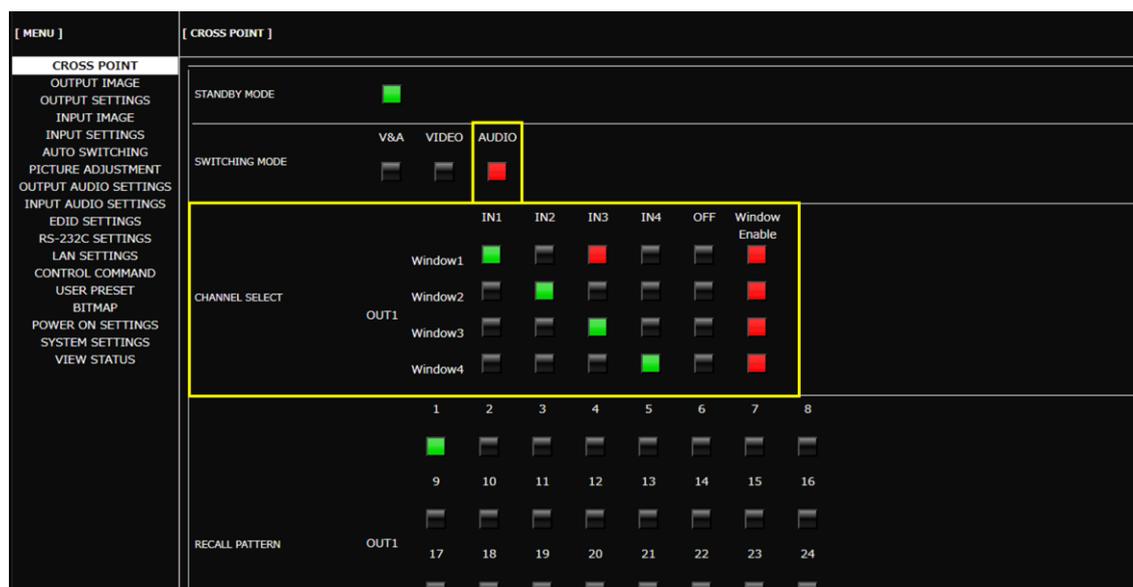
1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. [SWITCHING MODE]→[V&A]を選択します。
3. [CHANNEL SELECT]で任意の入力を選択します。



映像と音声を個別に切り換える

音声の切り換えは Window1 のみ可能です。

1. [MENU]→[CROSS POINT]を選択します。
2. [SWITCHING MODE]→[VIDEO]または[AUDIO]を選択します。
[VIDEO]：映像のみを切り換える
[AUDIO]：音声のみを切り換える
3. [CHANNEL SELECT]で任意の入力を選択すると[SWITCHING MODE]で選択した信号が切り替わります。

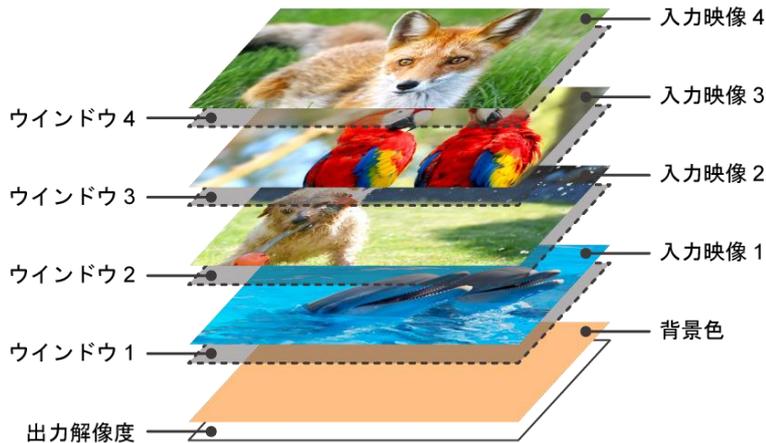


映像の設定

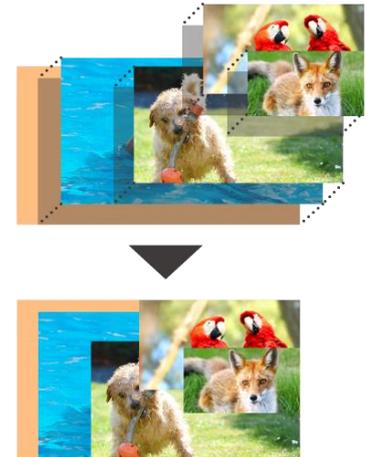
本機に入力された映像または本機から出力する映像の解像度、サイズ、および位置などの設定について説明します。

複数のウィンドウを表示する場合、以下のように背景色、ウィンドウ n の順に重ねて出力されます。ウィンドウの順番は、“**ウィンドウの優先順位を設定する (P.38)**”の設定によって変化します。ウィンドウを小さくしたときには奥(下位層)の映像が表示されます。

出力映像設定の階層構成



例：4 入力映像を表示させた場合



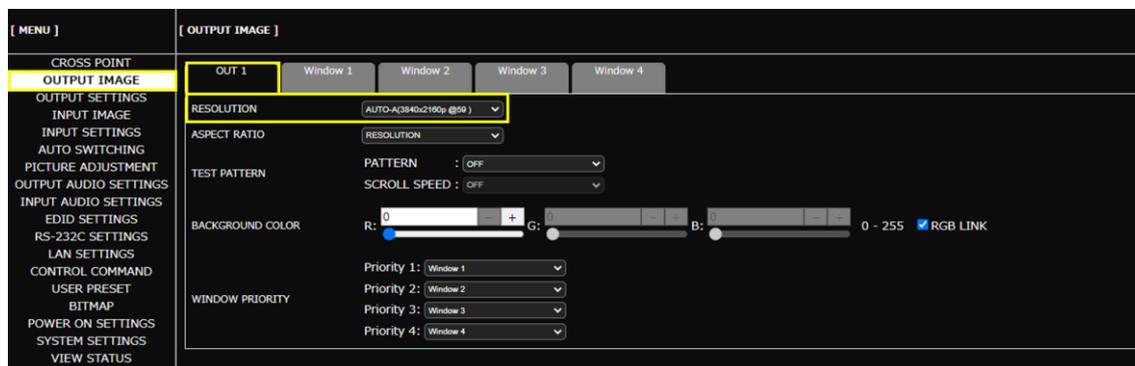
出力解像度を変更する

初期値では、接続されたシンク機器の EDID から最適な解像度を自動で選択し出力します。解像度を任意に選択して出力する場合は、設定を変更します。

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[RESOLUTION]を選択します。
2. 解像度を選択します。(初期値: A (AUTO-A))
3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



ウィンドウの表示位置を調整する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW POSITION]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [H](水平)または[V](垂直)を選択します。
4. 表示位置を設定します。(初期値: 0.0%)

WEB GUI



ウィンドウの表示サイズを調整する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW SIZE]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [HV](水平/垂直連動)、[H](水平)または[V](垂直)を選択します。
4. 表示サイズを設定します。(初期値: 100.0%)

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with 'OUTPUT IMAGE' selected. The main panel shows settings for 'Window 1'. The 'WINDOW SIZE' section is highlighted with a yellow box. It includes sliders for H (Horizontal) and V (Vertical) size, both set to 50.00%. The H/V LINK checkbox is checked. Other settings include WINDOW POSITION, WINDOW IMAGE POSITION, WINDOW IMAGE SIZE, WINDOW BACKGROUND, OVERLAY TEXT POSITION, OVERLAY TEXT SIZE, BORDER SIZE, BORDER COLOR, WINDOW ENABLE, and IMAGE INITIALIZATION.



ウィンドウ内の映像表示位置を調整する

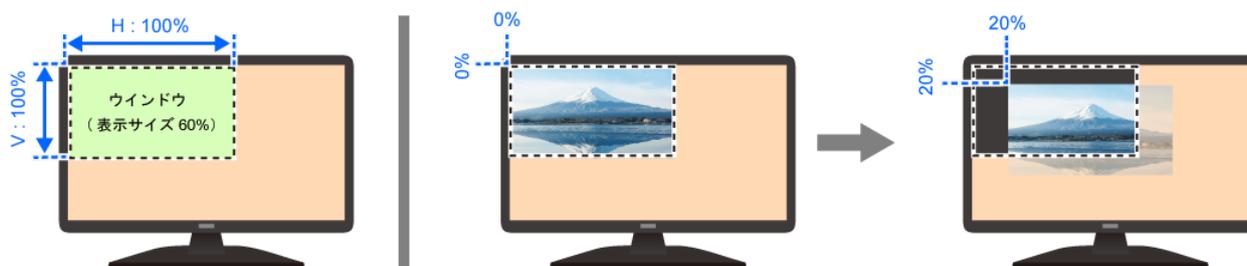
ウィンドウの左上を 0%、右下を 100%として、ウィンドウのサイズに対する比率で表示位置を設定します。

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW IMAGE POSITION]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [H](水平)または[V](垂直)を選択します。
4. 表示位置を設定します。(初期値: 0.0%)

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with 'OUTPUT IMAGE' selected. The main area displays settings for 'Window 1'. The 'WINDOW IMAGE POSITION' section is highlighted with a yellow box, showing 'H: 0.00' and 'V: 0.00' with sliders and a range of '-400.00 - 100.00%'. Other settings include 'WINDOW POSITION', 'WINDOW SIZE', 'WINDOW IMAGE SIZE', 'WINDOW BACKGROUND', 'OVERLAY TEXT POSITION', 'OVERLAY TEXT SIZE', 'BORDER SIZE', 'BORDER COLOR', 'WINDOW ENABLE', and 'IMAGE INITIALIZATION'.



ウィンドウ内の映像表示サイズを調整する

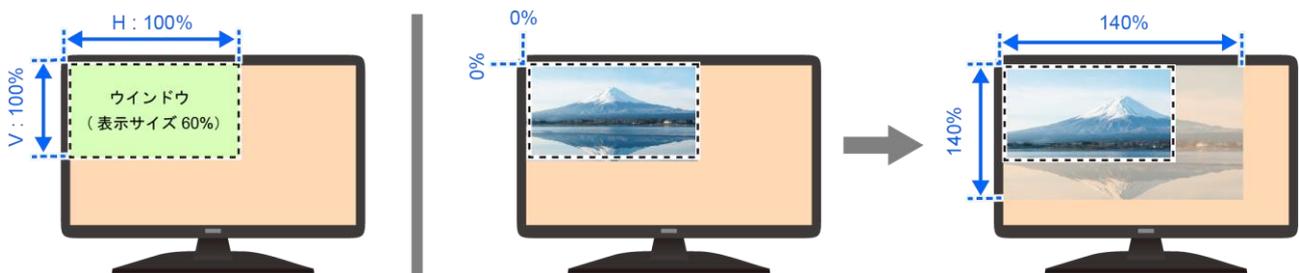
ウィンドウの左上を基準にして、ウィンドウのサイズに対する比率を設定します。

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW IMAGE SIZE]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [HV](水平/垂直連動)、[H](水平)または[V](垂直)を選択します。
4. 表示サイズを設定します。(初期値: 100.0%)

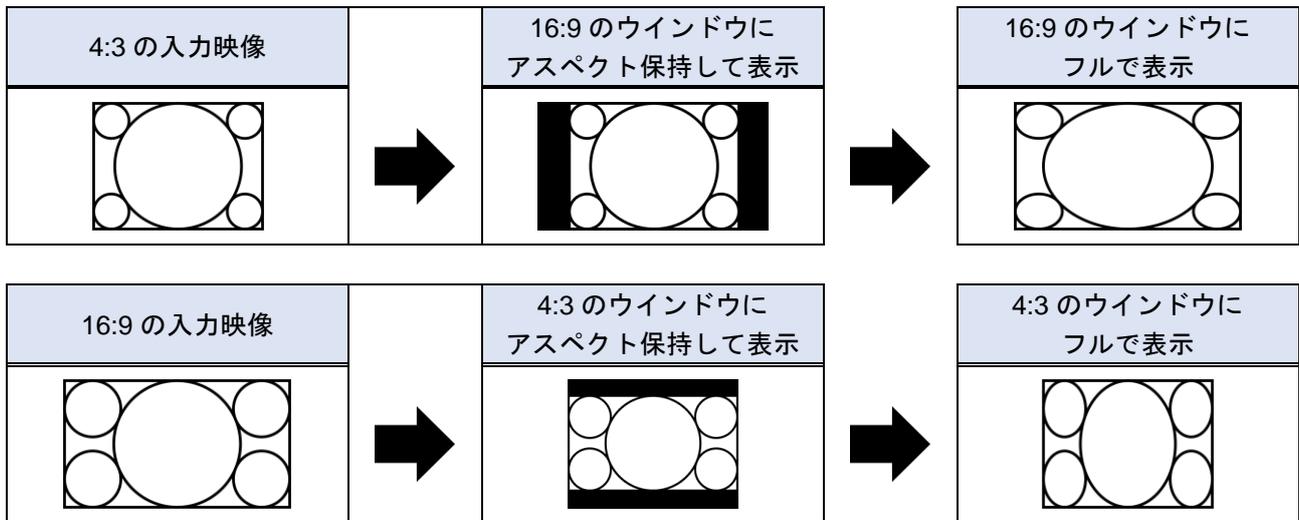
WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with 'OUTPUT IMAGE' selected. The main panel shows settings for 'Window 1'. The 'WINDOW IMAGE SIZE' section is highlighted with a yellow box. It displays 'H: 100.00' and 'V: 100.00' with sliders and a 'Percent' dropdown menu. The 'H/V LINK' checkbox is checked. Other settings like 'WINDOW POSITION', 'WINDOW BACKGROUND', and 'BORDER SIZE' are also visible.



入力映像をフルで表示する

以下は、入力映像を拡大/縮小し、入力映像全体をウインドウ全体に表示する場合の図です。



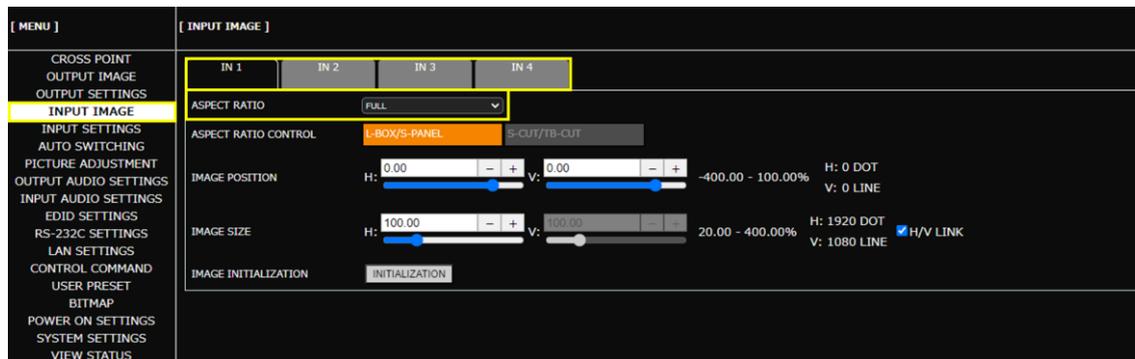
任意の入力映像をフルで表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [INPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [FULL]を選択します。(初期値: AUTO-1)

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

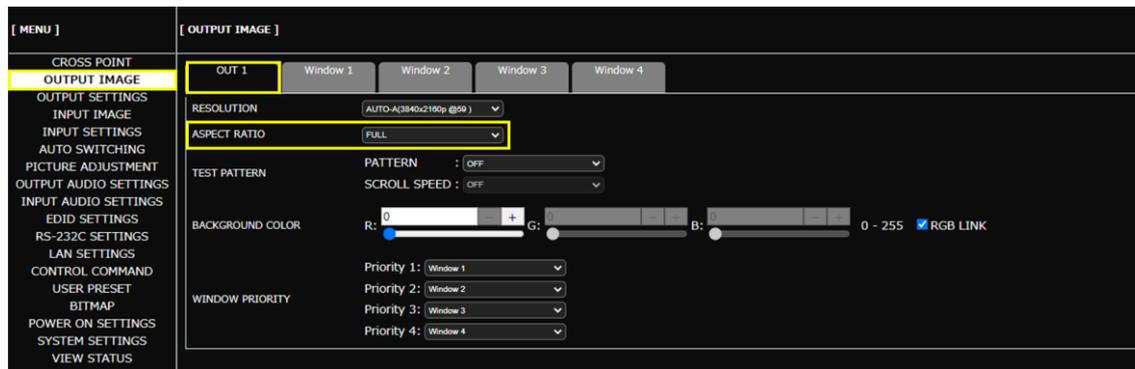
すべての入力映像をフルで表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する出力チャンネルを選択します。
3. [FULL]を選択します。(初期値: RESOLUTION)

WEB GUI



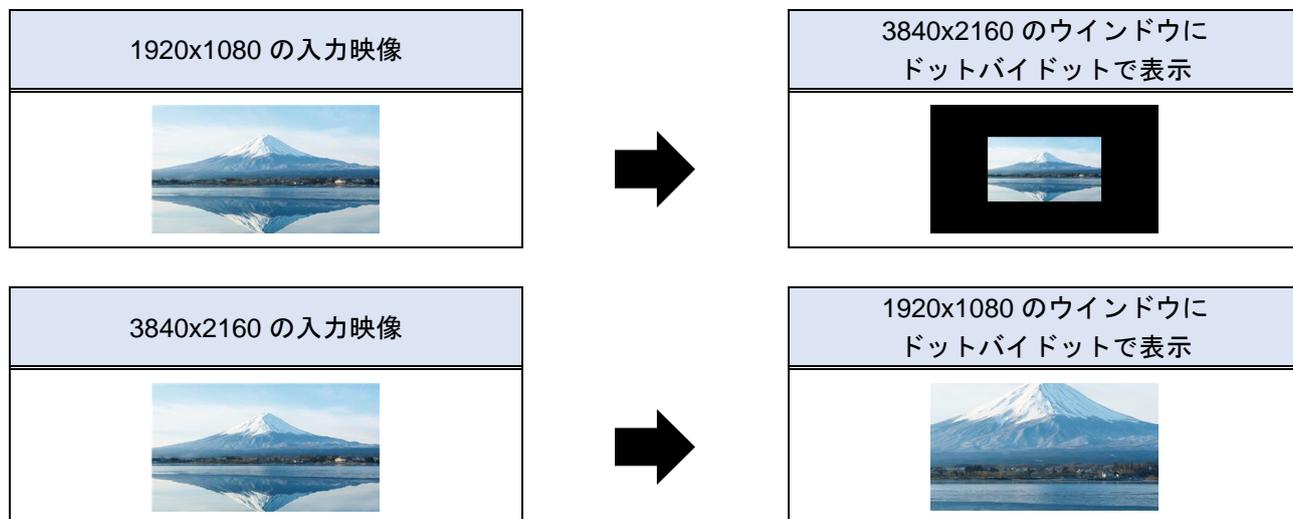
Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

入力映像をドットバイドットで表示する

アドバンスト

以下は、入力映像を拡大/縮小せず、入力映像をドットバイドットでウィンドウに表示する場合の図です。



フロントパネル

1. [INPUT IMAGE]→[ASPECT RATIO]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [THROUGH]を選択します。(初期値: AUTO-1)

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

ウィンドウを非表示にする

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW ENABLE]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [OFF]を選択します。(初期値: ON)

WEB GUI

The screenshot displays the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with the following items: CROSS POINT, OUTPUT IMAGE (highlighted), OUTPUT SETTINGS, INPUT IMAGE, INPUT SETTINGS, AUTO SWITCHING, PICTURE ADJUSTMENT, OUTPUT AUDIO SETTINGS, INPUT AUDIO SETTINGS, EDID SETTINGS, RS-232C SETTINGS, LAN SETTINGS, CONTROL COMMAND, USER PRESET, BITMAP, POWER ON SETTINGS, SYSTEM SETTINGS, and VIEW STATUS. The main content area is titled '[OUTPUT IMAGE]' and features tabs for 'OUT 1', 'Window 1', 'Window 2', 'Window 3', and 'Window 4'. Below the tabs, various settings are adjustable, including WINDOW POSITION, WINDOW SIZE, WINDOW IMAGE POSITION, WINDOW IMAGE SIZE, WINDOW BACKGROUND (with RGB sliders), OVERLAY TEXT POSITION, OVERLAY TEXT SIZE, BORDER SIZE, and BORDER COLOR. At the bottom, the 'WINDOW ENABLE' setting is highlighted with a yellow box, showing 'OFF' selected over 'ON'. An 'INITIALIZATION' button is located at the very bottom of the settings area.

ウィンドウの優先順位を設定する

アドバンスト

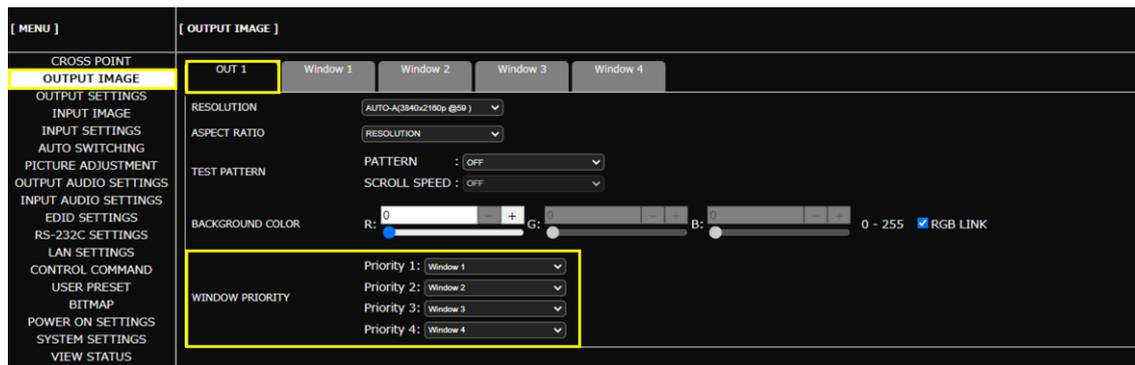
フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[WINDOW PRIORITY]を選択します。
2. 左から優先順位の高い順番にウィンドウを設定します。(初期値: W1 > W2 > W3 > W4)

[WINDOW PRIORITY] ⬆️
 OUT1 : W1 > W2 > W3 > W4

3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

ウィンドウのオーバーレイテキストを設定する

ウィンドウに表示するオーバーレイテキストの表示/非表示と表示位置を設定します。

テキストを表示する

アドバンスト

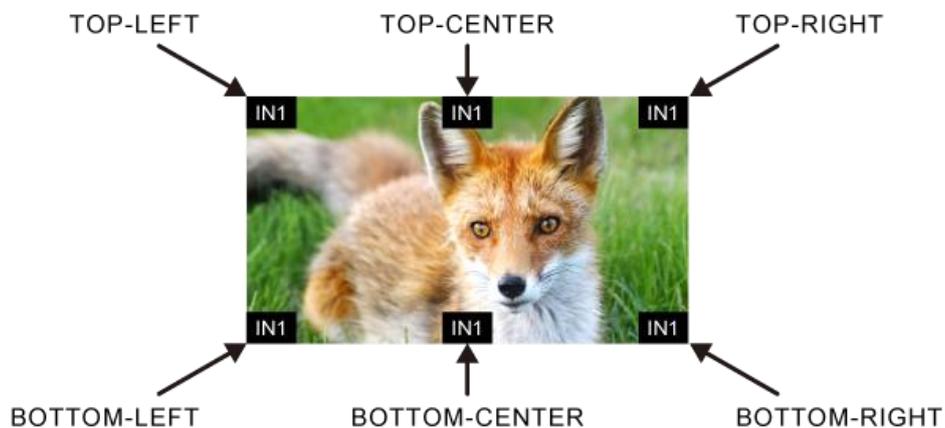
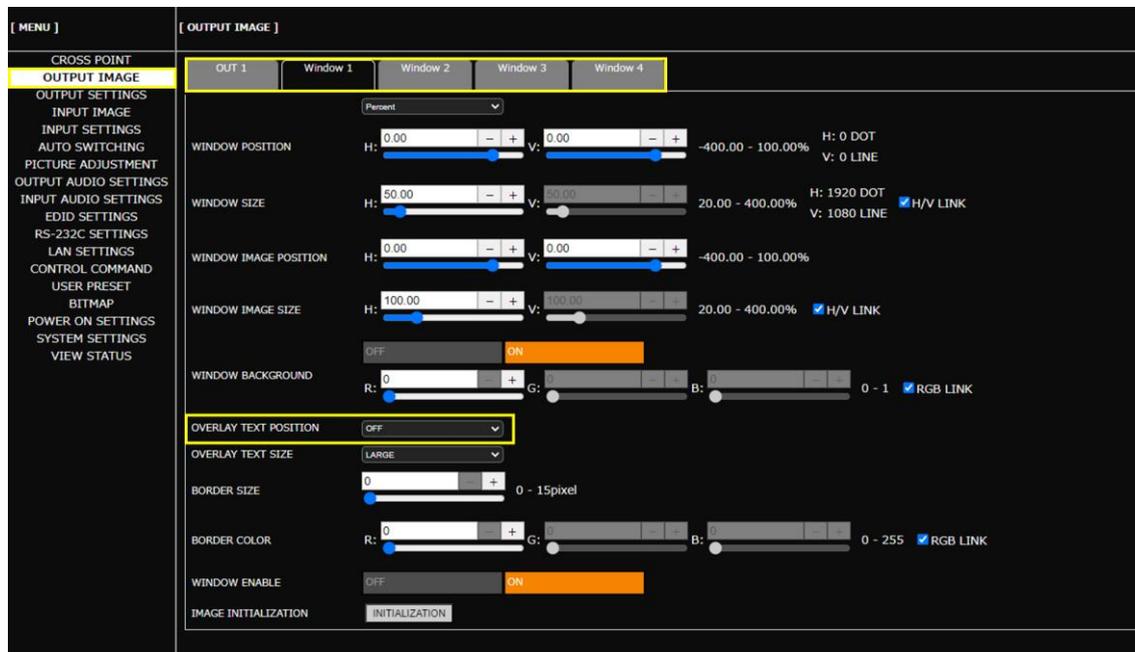
フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[OVERLAY TEXT POSITION]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. テキストを表示したい場所を選択します。(初期値: OFF)

Tip

表示する入力チャンネル名は、“WEB GUI で表示する名称を編集する (P.25)”を参照してください。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

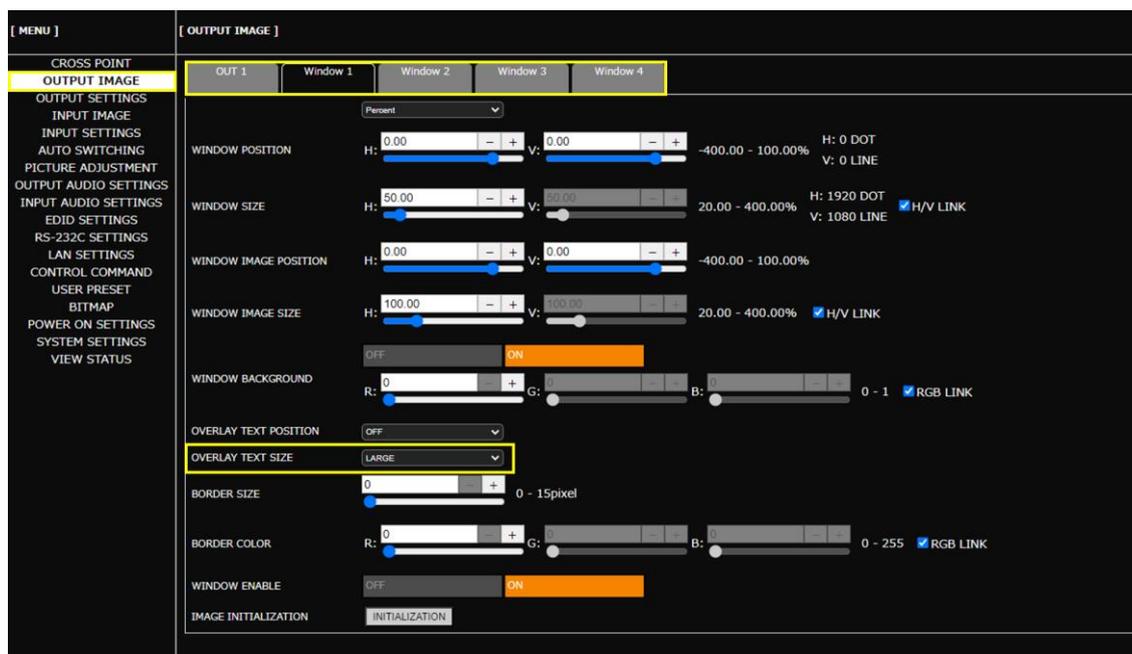
テキストのサイズを設定する

アドバンス

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[OVERLAY TEXT SIZE]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. サイズを選択します。(初期値: LARGE)

WEB GUI

**Tip**

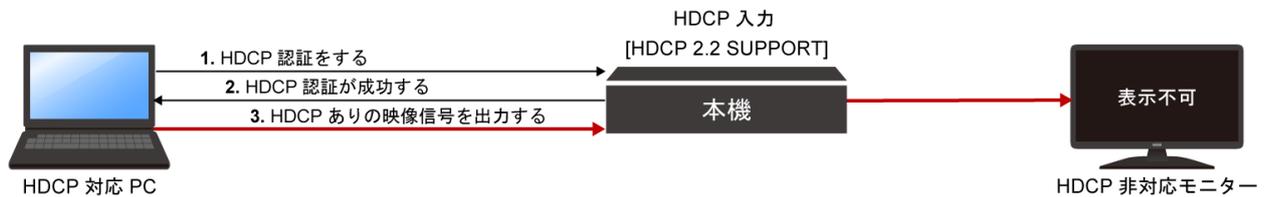
本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示する

アドバンスト

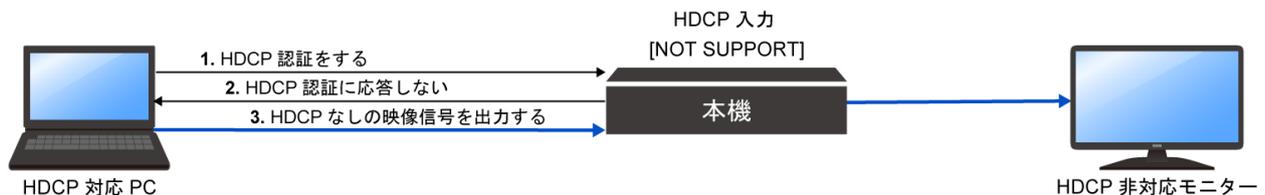
初期値では、本機は HDCP 2.2 対応機器として動作します。接続されたシンク機器の HDCP 対応を検出し、自動で HDCP 出力を判断するソース機器が接続された場合は、以下のように HDCP ありの映像信号をソース機器から受け取ると、HDCP 非対応のシンク機器には映像を表示できません。

— HDCP ありの映像



HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示するには、本機の入力コネクタを HDCP 非対応に設定します。以下のように HDCP なしの映像信号をソース機器から受け取ることで、HDCP 非対応のシンク機器に映像を表示することができます。

— HDCP なしの映像



フロントパネル

1. [INPUT SETTINGS]→[HDCP INPUT]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. [NOT SUPPORT]を選択します。(初期値: HDCP 2.2 SUPPORT)

WEB GUI



Note

ブルーレイディスクプレイヤーなど HDCP を必須とするソース機器を接続する場合は、ソース機器から映像と音声は出力されません。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

Deep Color の入力を有効にする

アドバンスト

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを以下のように設定します。

サブメニュー	設定値	初期値
[EDID SELECTION]	BUILT-IN EDID	BUILT-IN EDID
[SIGNAL FORMAT]	HDMI	HDMI
[DEEP COLOR]	30-BIT COLOR	24-BIT COLOR

3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

**Tip**

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

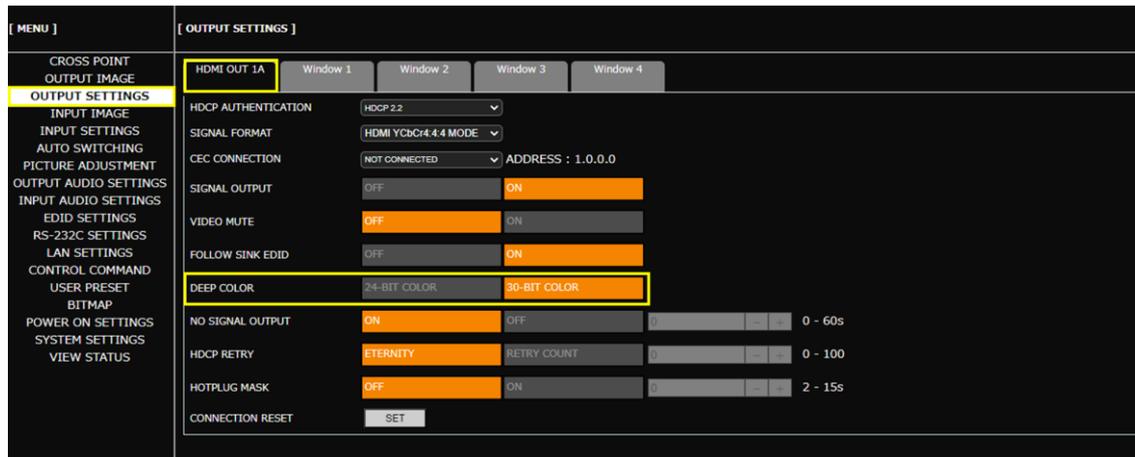
Deep Color の出力を有効にする

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[DEEP COLOR]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [30-BIT COLOR]を選択します。(初期値: 24-BIT COLOR)

WEB GUI



Notes

- ・ [30-BIT COLOR]を選択しても、シンク機器が Deep Color に対応していない場合は、24-BIT COLOR で映像信号を出力します。
- ・ [30-BIT COLOR]を選択し、出力解像度が 4K@50/59.94/60 の場合は、HDMI YCbCr 4:2:2 または HDMI YCbCr 4:2:0 の 30-BIT COLOR で映像信号を出力します。

Tip

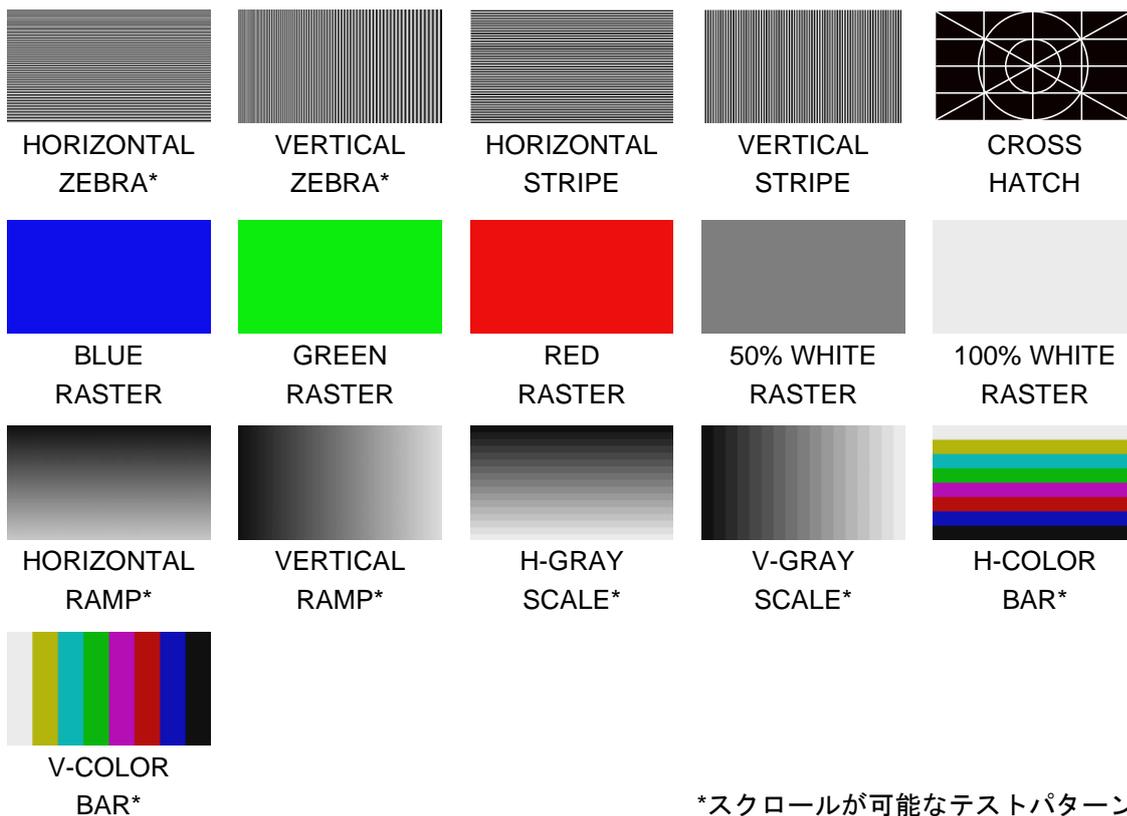
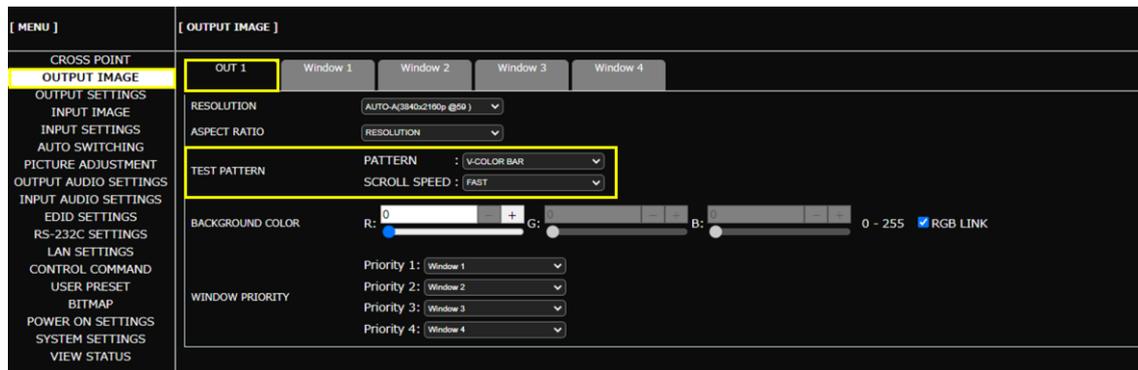
本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

テストパターンを出力する

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[TEST PATTERN]を選択します。
2. テストパターンを選択します。
3. スクロールが可能なテストパターンを選択した場合は、▷ボタンを押します。
4. スクロール速度を選択します。

WEB GUI



*スクロールが可能なテストパターン

出力映像設定を初期化する

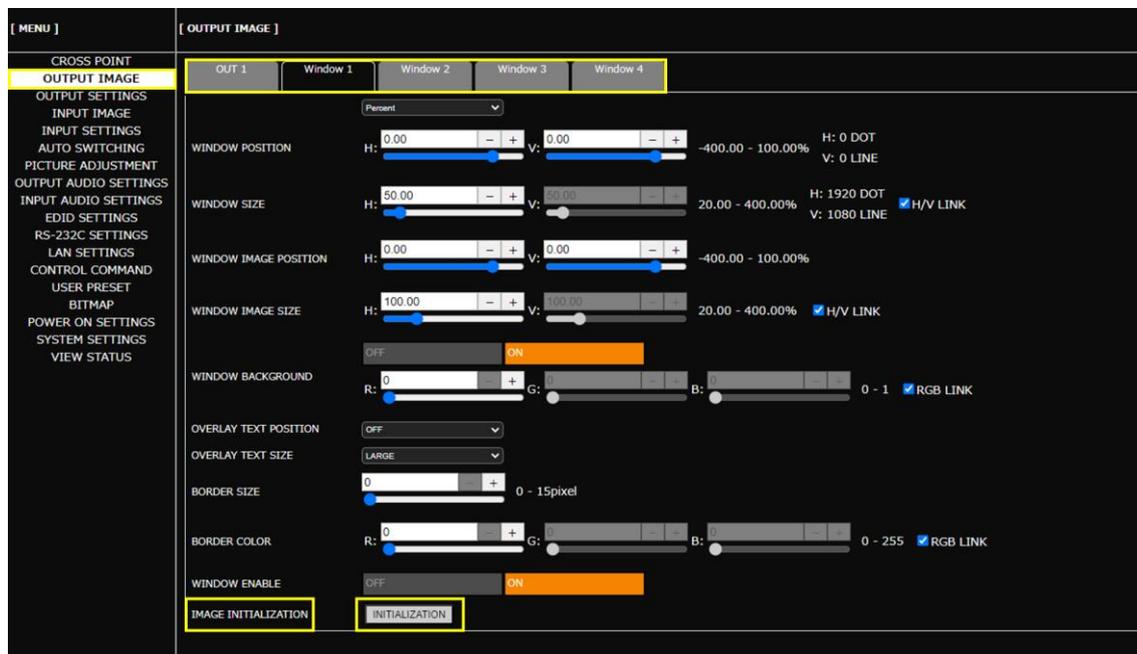
以下の出力映像設定を初期化します。

- 【ウィンドウの表示位置を調整する (P.30)】
- 【ウィンドウの表示サイズを調整する (P.31)】
- 【ウィンドウ内の映像表示位置を調整する (P.32)】
- 【ウィンドウ内の映像表示サイズを調整する (P.33)】

フロントパネル

1. [OUTPUT IMAGE]→[IMAGE INITIALIZATION]を選択します。
2. 初期化するウィンドウ番号を選択します。
3. [YES]を選択します。
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

設定のリストアが必要な場合は、初期化を実行する前にバックアップを取得してください。

入力映像設定を初期化する

アスペクト比、表示位置、および表示サイズを初期化します。

Tip

表示位置および表示サイズの詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

フロントパネル

1. [INPUT IMAGE]→[IMAGE INITIALIZATION]を選択します。
2. 初期化する入力チャンネルを選択します。
3. [YES]を選択します。
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

設定のリストアが必要な場合は、初期化を実行する前にバックアップを取得してください。

音声の設定

本機から入出力する音声の設定および調整方法について説明します。

HDMI 出力コネクタからはウインドウ 1 に選択した入力チャンネルのデジタル入力音声を出し、アナログ音声出力コネクタからは HDMI 出力コネクタの出力信号からデエンベツトした音声を出します。

音声レベルを調整する

1. 入力音声間のレベル差を調整します。

フロントパネル

- a) [INPUT AUDIO SETTINGS]→[AUDIO LEVEL]を選択します。
- b) 設定する入力コネクタを選択します。
- c) 入力音声レベルを調整します。(初期値: 0dB)

WEB GUI

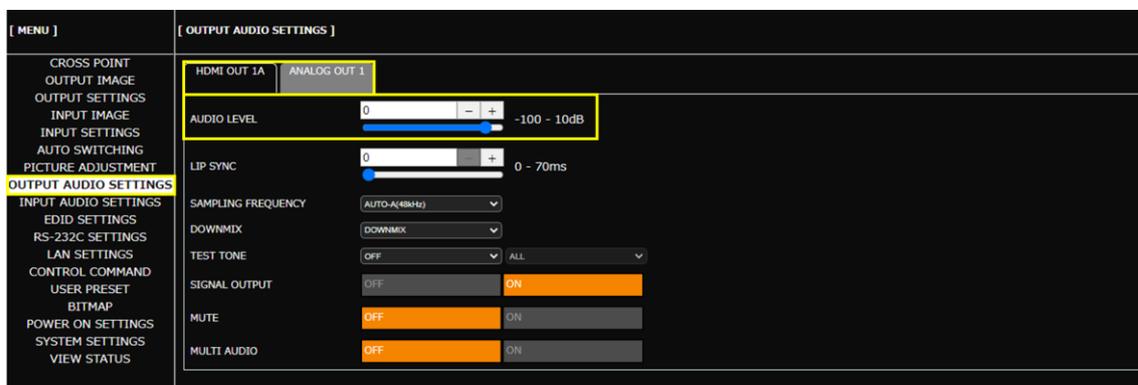


2. 音声レベルを出力音声ごとに調整します。

フロントパネル

- a) [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[AUDIO LEVEL]を選択します。
- b) 設定する出力コネクタを選択します。
- c) 出力音声レベルを調整します。(初期値: 0dB)

WEB GUI



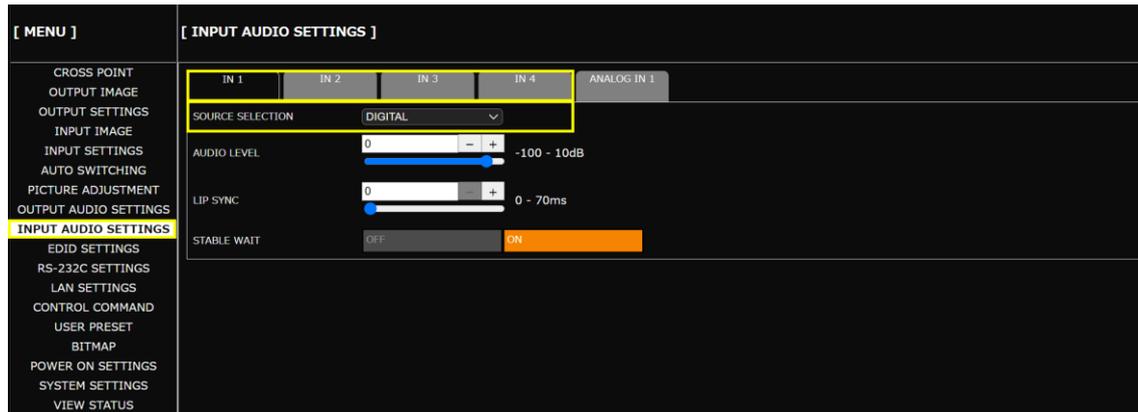
アナログ入力音声を出力する

アナログ入力音声を入力映像にエンベッドして出力します。

フロントパネル

1. [INPUT AUDIO SETTINGS]→[SOURCE SELECTION]を選択します。
2. 設定する入力チャンネルを選択します。
3. [ANALOG1]を選択します。(初期値: DIGITAL)

WEB GUI



マルチチャンネル音声の出力を有効にする

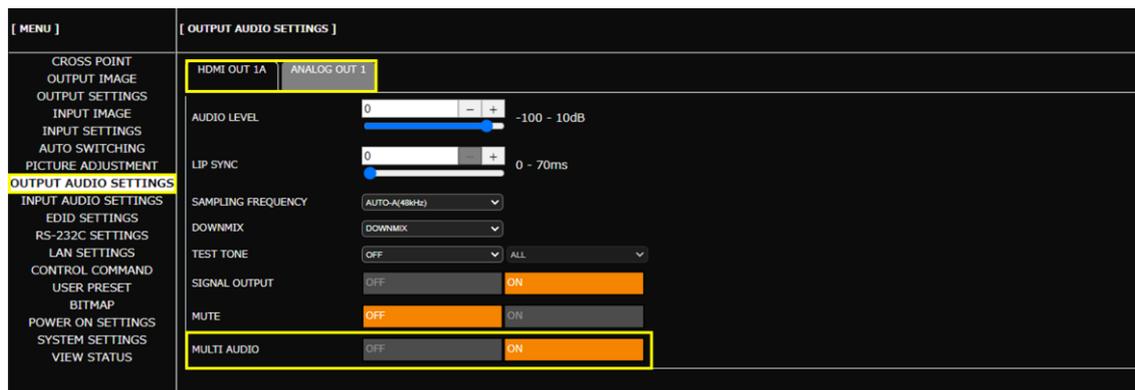
アドバンスト

初期値では、マルチチャンネル音声が入力された場合は、ダウンミックスした音声を出力します。マルチチャンネル音声を出力する場合は、設定を変更してください。

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[MULTI AUDIO]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [ON]を選択します。(初期値: OFF)

WEB GUI



Note

シンク機器がマルチチャンネル音声に対応していない場合は、一部の音声のみ出力されます。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

マルチチャンネル入力音声をダウンミックスして出力する

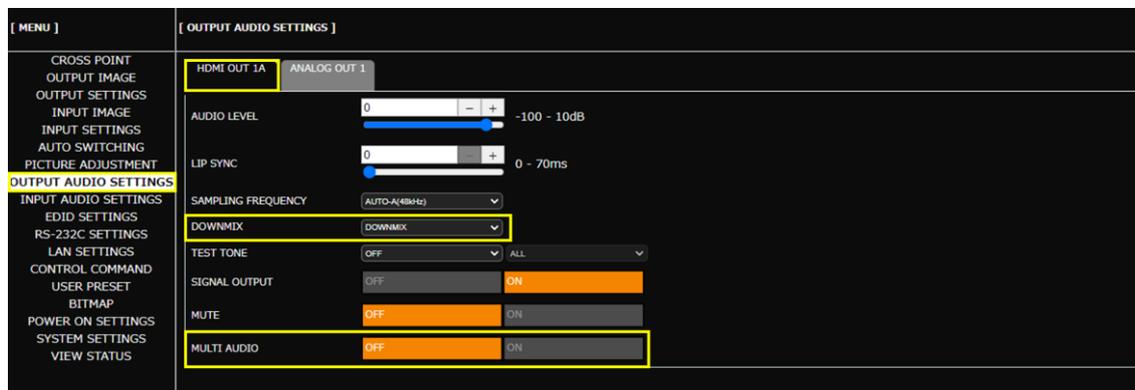
アドバンスト

デジタル入力音声のマルチチャンネルリニア PCM 信号をダウンミックスして出力する場合は、出力するデジタル音声およびアナログ音声のダウンミックスを設定してください。

フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[MULTI AUDIO]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. [OFF]を選択します。(初期値: OFF)
4. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[DOWNMIX]を選択します。
5. 設定する出力コネクタを選択します。
6. [DOWNMIX]を選択します。(初期値: DOWNMIX)

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

圧縮音声の入力を有効にする

アドバンスト

初期値では、圧縮音声は非対応設定のため、ソース機器から圧縮音声は出力されません。圧縮音声を入力する場合は、EDID の設定を変更してください。

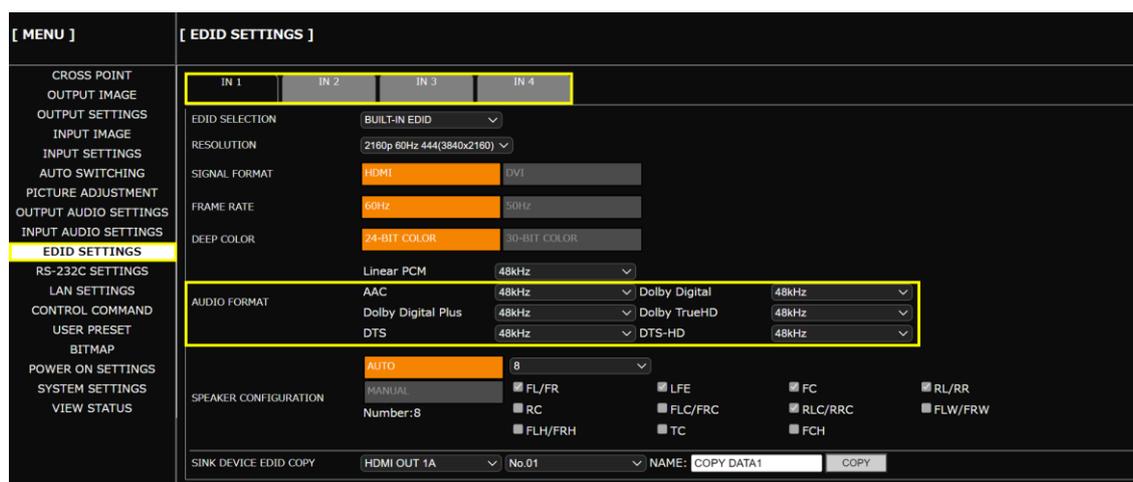
フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを以下のように設定します。

サブメニュー	設定値	初期値
[EDID SELECTION]	BUILT-IN EDID	BUILT-IN EDID
[SIGNAL FORMAT]	HDMI	HDMI
[SPEAKER CONFIGURATION]	AUTO	AUTO
	3 ~ 8 (スピーカー数)	2

3. MENU/ENTER ボタンを押します。
4. [EDID SETTINGS]のサブメニューから有効にする圧縮音声を選択します。
5. 設定する入力コネクタを選択します。
6. サンプリング周波数を選択します。(初期値: OFF)
7. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Notes

- ・ 圧縮音声は AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS、および DTS-HD に対応しています。
- ・ シンク機器が対応していない圧縮音声は出力できません。
- ・ 圧縮音声信号を入出力する場合は、音声の設定は無効になり、アナログ音声は出力できません。

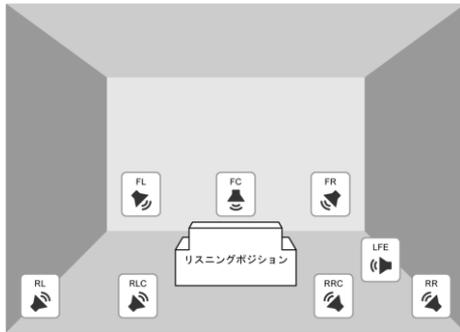
Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

テストトーンを出力する

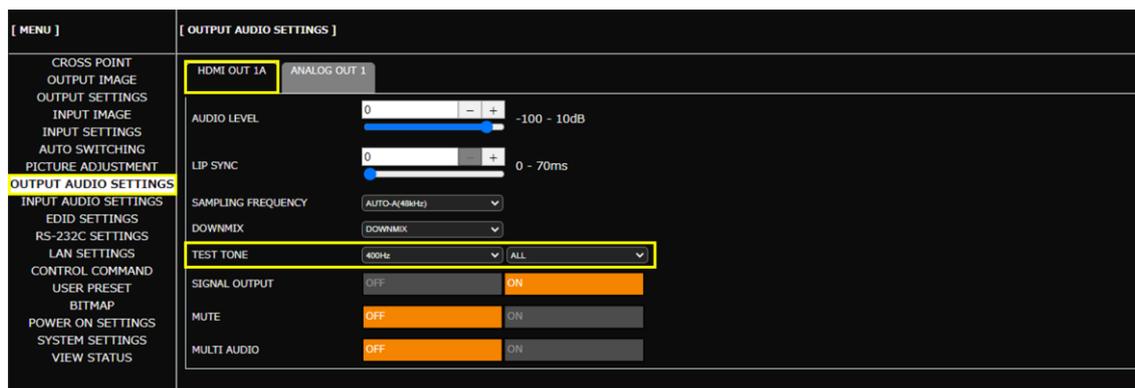
フロントパネル

1. [OUTPUT AUDIO SETTINGS]→[TEST TONE]を選択します。
2. 設定する出力コネクターを選択します。
3. 出力するテストトーンの周波数を選択します。
4. 出力するスピーカーを選択します。



FL : Front Left
 FC : Front Center
 FR : Front Right
 LFE : Low Frequency Effect
 RL : Rear Left
 RLC : Rear Left Center
 RRC : Rear Right Center
 RR : Rear Right

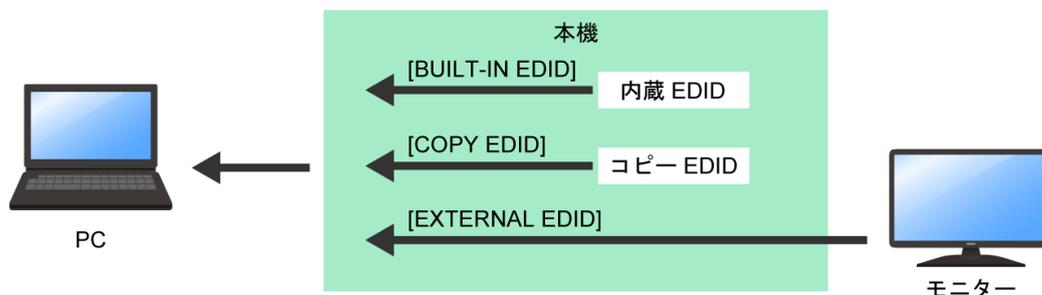
WEB GUI



EDID の設定

使用する EDID の選択方法や EDID 設定の変更方法について説明します。

本機に接続されたソース機器は、本機が対応する映像信号、音声信号の情報を EDID から取得します。本機の EDID を変更して、ソース機器から本機に出力して欲しい信号情報をソース機器に送信します。



- [BUILT-IN EDID] : 対応解像度情報などを変更できる本機内蔵の EDID
- [COPY DATA] : シンク機器からコピーし本機に保存された EDID
- [EXTERNAL EDID] : 出力コネクタに接続されているシンク機器の EDID

EDID を選択する

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[EDID SELECTION]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. ソース機器に送信する EDID を選択します。(初期値: BUILT-IN EDID)
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

Note

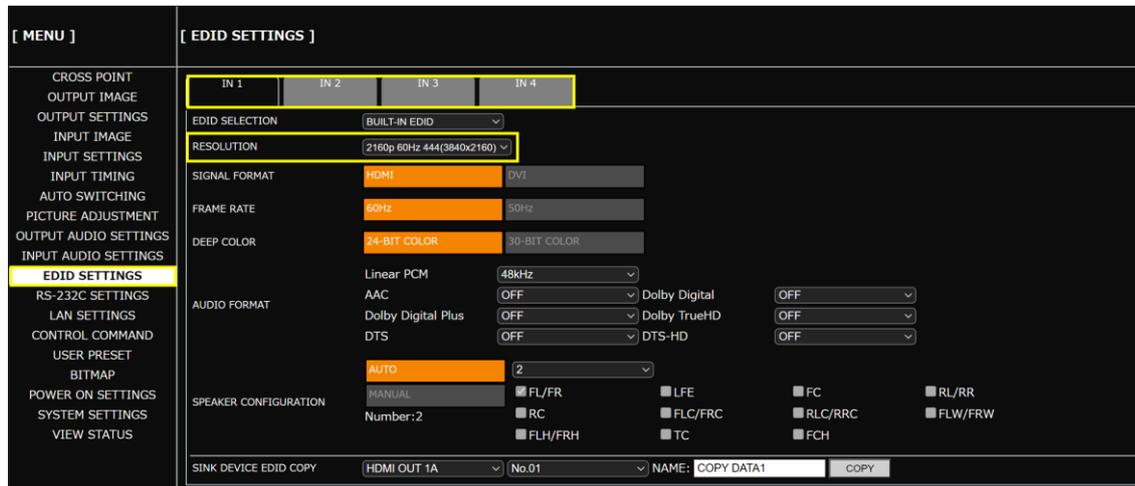
シンク機器からコピーした EDID は、有効な保存データがある場合のみ選択でき、保存時に設定した名前が表示されます。シンク機器からコピーした EDID を本機に保存する方法は、“シンク機器の EDID をコピーする (P.56)”を参照してください。

内蔵 EDID の対応解像度情報を変更する

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[RESOLUTION]を選択します。
2. 設定する入力コネクタを選択します。
3. 最大対応解像度を選択します。(初期値: 3840x2160@60Hz 4:4:4)
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

4K 解像度を出力できないソース機器を接続する場合は、EDID を 4K 解像度に設定すると、正常な映像が出力されないことがあります。ソース機器が出力できる解像度に合わせて EDID の対応解像度情報を変更してください。

シンク機器の EDID をコピーする

フロントパネル

1. [EDID SETTINGS]→[SINK DEVICE EDID COPY]を選択します。
2. EDID をコピーするシンク機器が接続されている出力コネクタを選択します。
3. EDID を保存するメモリー番号を選択します。
4. EDID 名を入力します。
5. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with 'EDID SETTINGS' highlighted. The main area displays the 'EDID SETTINGS' configuration page. At the top, there are tabs for 'IN 1', 'IN 2', 'IN 3', and 'IN 4'. Below these, various settings are shown, including EDID SELECTION (BUILT-IN EDID), RESOLUTION (2160p 60Hz 444(3840x2160)), SIGNAL FORMAT (HDMI), FRAME RATE (60Hz), DEEP COLOR (24-BIT COLOR), AUDIO FORMAT (Linear PCM, AAC, Dolby Digital Plus, DTS), and SPEAKER CONFIGURATION. At the bottom, the 'SINK DEVICE EDID COPY' section is highlighted, showing 'HDMI OUT 1A' selected for the device, 'No.01' for the memory number, and 'COPY DATA1' as the name. A 'COPY' button is visible next to the name field.

ビットマップの表示

ビットマップファイルの保存および表示方法について説明します。

本機に保存できるビットマップファイルは、Windowsなどで使用される DIB(Device Independent Bitmap)にヘッダーを付けた以下の条件を満たすファイルです。

ヘッダーファイル：BITMAPFILEHEADER

情報ヘッダー：BITMAPCOREHEADER (OS/2 用)、BITMAPINFOHEADER (Windows 用)

色数：2 色 (モノクロ、1 ビット)、16 色 (4 ビット)、256 色 (8 ビット)、
1677 万色 (TRUE COLOR、24 ビット)

1 枚の画像サイズ：メモリーモードが 2K (4 BITMAPS): 2048x1152 以下
メモリーモードが 4K (1 BITMAPS): 4096x2160 以下

圧縮形式：無圧縮 (BI_RGB)、8 ビットランレングス圧縮 (BI_RLE8)、
4 ビットランレングス圧縮 (BI_RLE4)

ビットマップファイルを保存する

アドバンスト

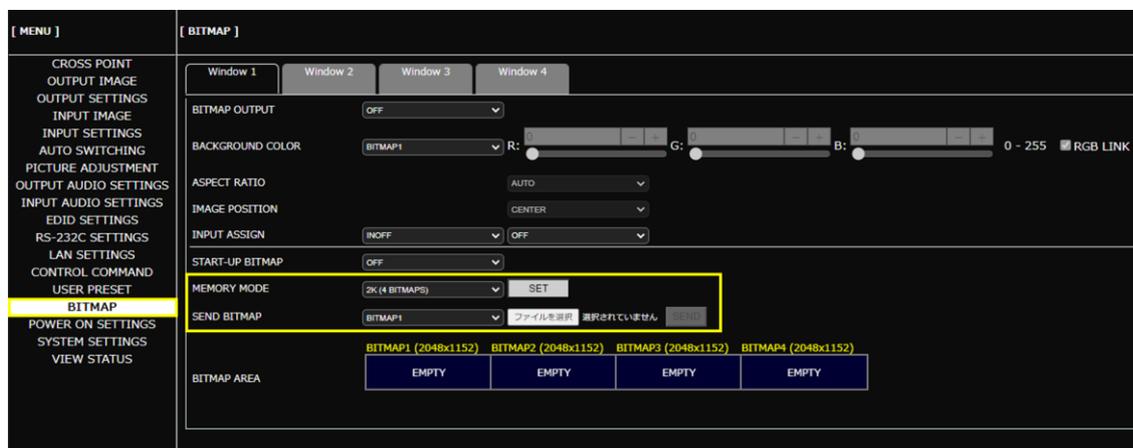
WEB GUI

1. [MENU]→[BITMAP]を選択します。
2. [MEMORY MODE]から保存するビットマップファイルの最大解像度を選択します。
 2K (4 BITMAPS) : 2048x1152 以下のビットマップを 4 つまで保存可能
 4K (1 BITMAP) : 4096x2160 以下のビットマップを 1 つ保存可能
3. [SET]ボタンを押します。

Notes

- ・ 設定を変更すると、変更前に保存されていたビットマップファイルは消去されます。
- ・ ビットマップの保存にかかる時間は、1920x1080 で約 6 分、3840x2160 で約 20 分です。

4. [SEND BITMAP]プルダウンメニューから保存先のビットマップファイル番号を選択します。
5. [ファイルを選択]ボタンを押します。
6. 保存するビットマップファイルを選択します。
7. [SEND]ボタンを押します。



Notes

- ・ フロントディスプレイに[Writing Bitmap Please Wait...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。設定内容を失うことがあります。
- ・ 保存したビットマップファイルは初期化しても失われません。
- ・ 保存したビットマップファイルのバックアップはできません。
- ・ ビットマップファイルはWEB ブラウザーを使用し保存してください。フロントパネルからは保存できません。

Tip

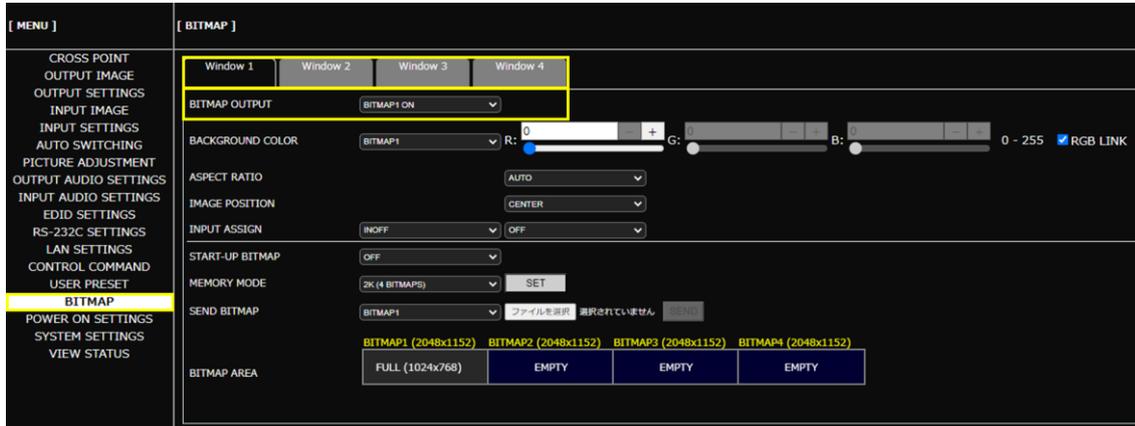
本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、“アドバンストメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

ビットマップを表示する

フロントパネル

1. [BITMAP]→[BITMAP OUTPUT]を選択します。
2. ビットマップを表示するウインドウを選択します。
3. 保存したビットマップファイルの番号を選択します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

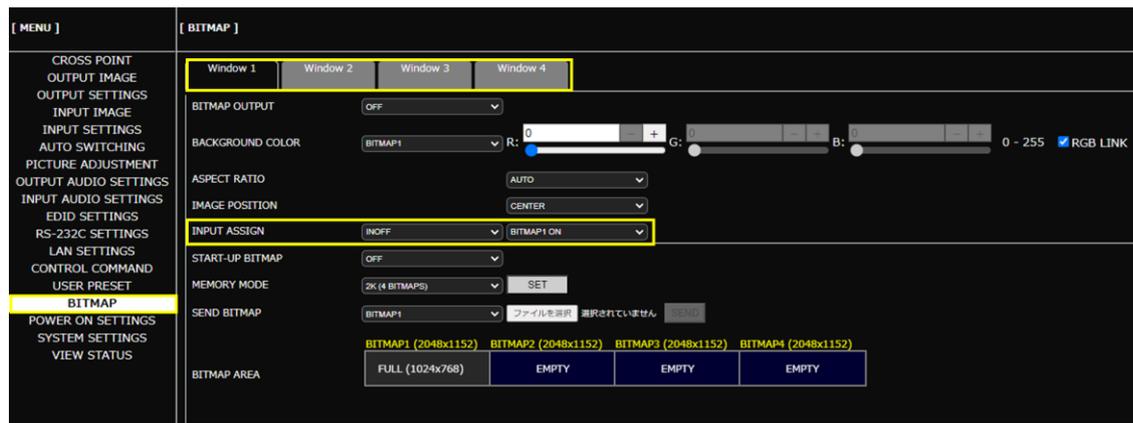
入力チャンネルに OFF を選択したときにビットマップを表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [BITMAP]→[INPUT ASSIGN]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. [INPUT ASSIGN]で[INOFF]を選択します。
4. 表示するビットマップファイルの番号を選択します。
5. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

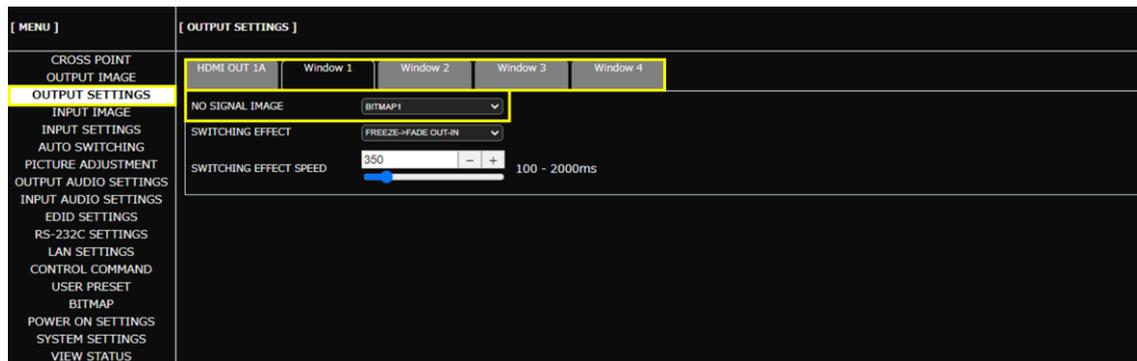
入力映像信号がないときにビットマップを表示する

アドバンスト

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[NO SIGNAL IMAGE]を選択します。
2. 設定するウィンドウを選択します。
3. 表示するビットマップファイルの番号を選択します。

WEB GUI



Note

本機にビットマップファイルが保存されている番号のみ選択可能です。

Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

入力チャンネル自動切換の設定

入力映像信号の検出または消失時に、有効な映像信号がある入力チャンネルに自動で切り換える方法について説明します。

入力チャンネルを自動で切り換える

アドバンスト

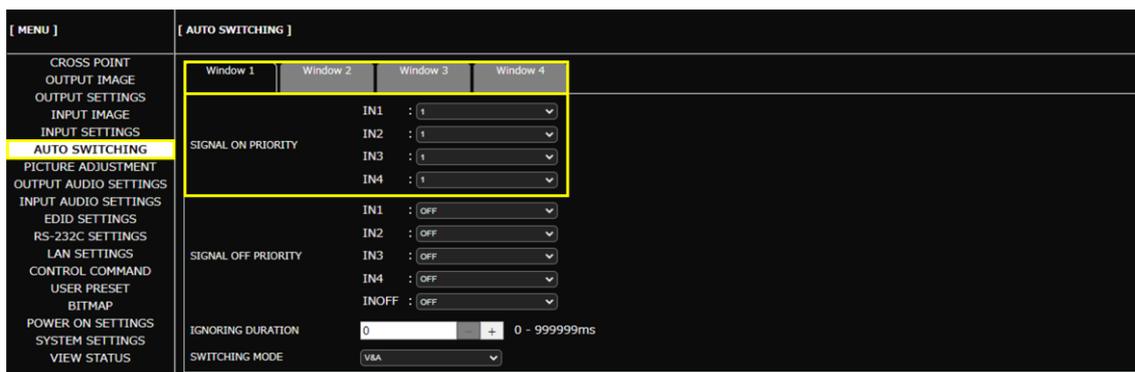
以下は、映像信号の入力を検出したときと、入力された映像信号が消失したときに自動でチャンネルを切り換える場合の例です。

1. 入力映像信号を検出したチャンネルに自動的に切り換える設定をします。

フロントパネル

- a) [AUTO SWITCHING]→[SIGNAL ON PRIORITY]を選択します。
- b) 自動切換を行うウィンドウを選択します。
- c) すべての入力チャンネルに同じ優先度を選択します。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



2. 入力映像信号が消失したときに、自動的に IN1 のチャンネルに切り換える設定をします。

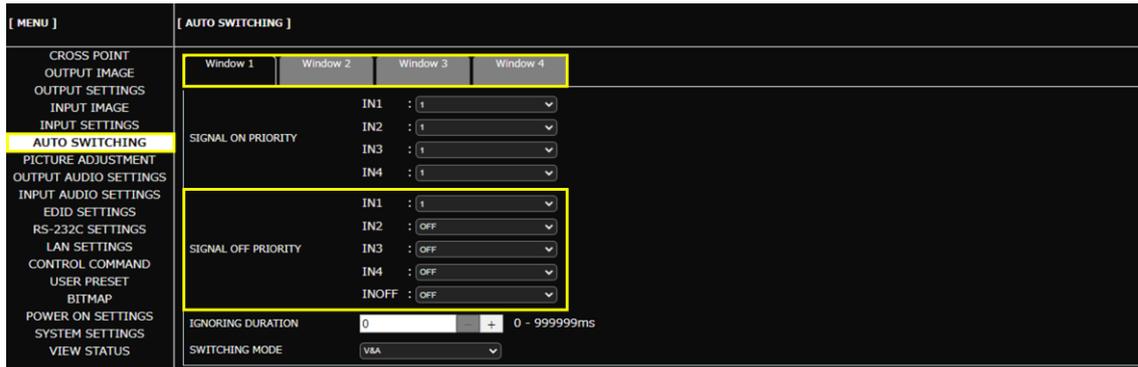
フロントパネル

- [AUTO SWITCHING]→[SIGNAL OFF PRIORITY]を選択します。
- 自動切り換えを行うウィンドウを選択します。
- 各入力チャンネルに以下の優先度を設定します。

入力チャンネル	設定値	説明
IN1	1	最も高い優先度
IN1 以外	OFF	優先度の設定なし

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

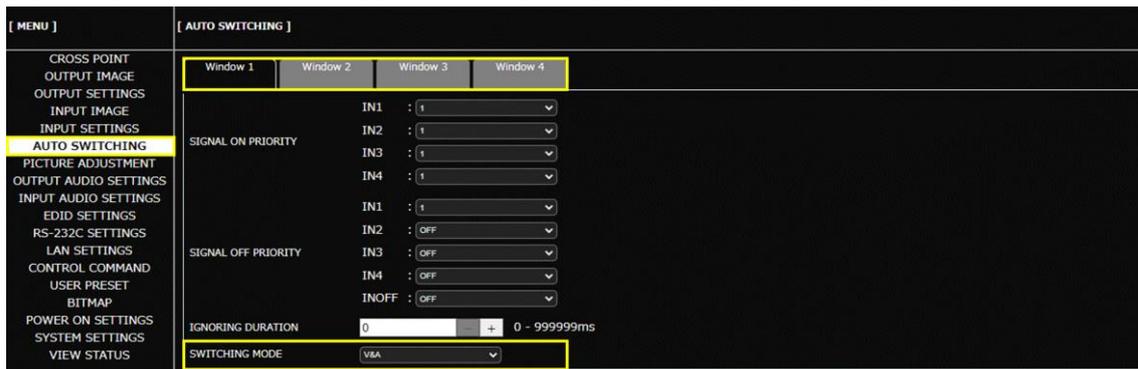


3. 自動切り換の実行時に切り換える信号を選択します。

フロントパネル

- [AUTO SWITCHING]→[SWITCHING MODE]を選択します。
- 自動切り換えを行うウィンドウを選択します。
- [V&A]を選択します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、「アドバンスメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

自動切換の連続実行を防止する

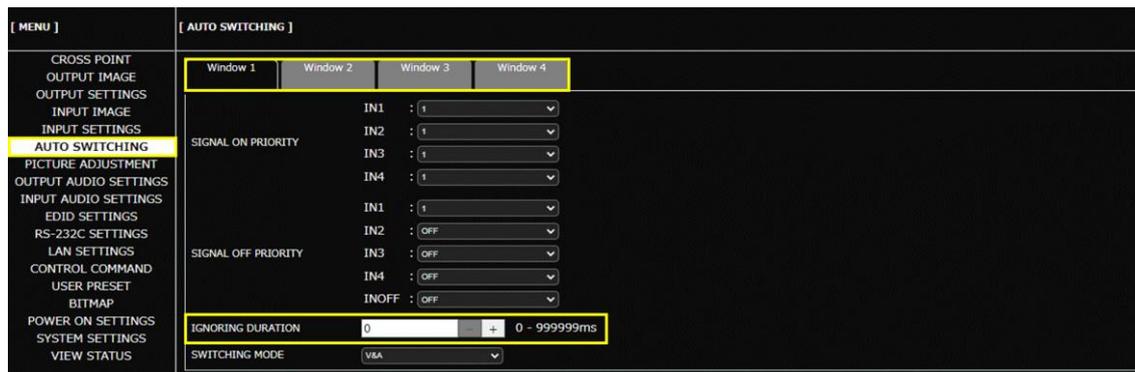
アドバンスト

入力映像信号の変化を短い間隔で検出すると、自動切換が連続して実行されます。自動切換の実行後に、信号変化の検出を無効にする時間を設定することで、自動切換の連続実行を防止します。

フロントパネル

1. [AUTO SWITCHING]→[IGNORING DURATION]を選択します。
2. 自動切換を行うウィンドウを選択します。
3. 自動切換が実行された後に信号変化の検出を無効にする時間を設定します。

WEB GUI



Tip

本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

通信の設定

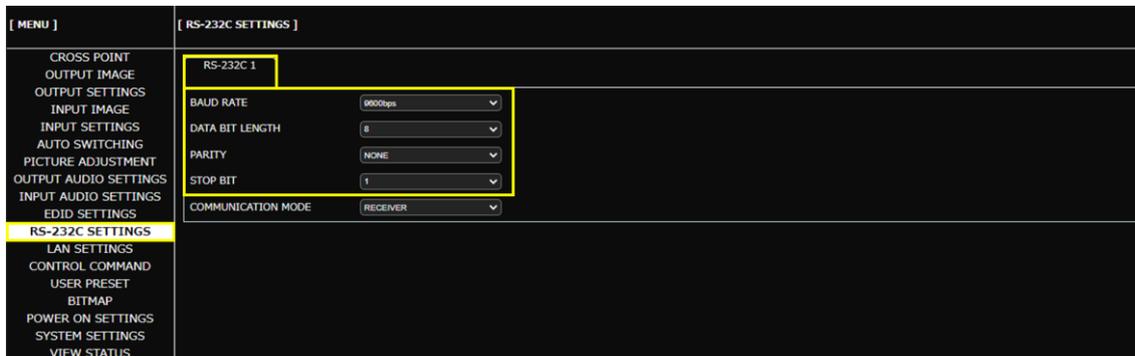
本機の通信設定について説明します。

RS-232C 通信を設定する

フロントパネル

1. [RS-232C SETTINGS]→[PARAMETERS]を選択します。
2. 設定する RS-232C 通信対応コネクタを選択します。
3. 以下を設定します。
 - [BAUD RATE] : 通信速度
 - [DATA BIT LENGTH] : データビット長
 - [PARITY] : パリティチェック
 - [STOP BIT] : ストップビット
4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tip

以下は、RS-232C 通信の初期値です。

- 通信速度 : 9600 bps
- データビット長 : 8 bits
- パリティチェック : NONE (なし)
- ストップビット : 1 bit

LAN 通信を設定する

フロントパネル

1. [LAN SETTINGS]を選択します。
2. 以下を設定します。
 - [IP ADDRESS] : 本機の IP アドレス
 - [SUBNET MASK] : 本機のサブネットマスク
 - [GATE WAY] : 本機のゲートウェイアドレス
3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for LAN settings. The left sidebar contains a menu with 'LAN SETTINGS' highlighted. The main content area is titled '[LAN SETTINGS]' and includes the following fields:

- DESTINATION 1 through DESTINATION 12 (buttons)
- REMOTE IP ADDRESS: 192.168.1.199
- PLink: OFF
- REMOTE PORT NUMBER: 1100
- PLink PASSWORD: (empty field)
- IP ADDRESS: 192.168.1.199 (with SET button)
- SUBNET MASK: 255.255.255.0 (with SET button)
- GATEWAY ADDRESS: 192.168.1.200 (with SET button)
- MAC ADDRESS: 00-08-E5-72-00-05
- AUTO DISCONNECT: SERVER (dropdown), DISCONNECT (dropdown), 30 (input), 1 - 180s (range)

Notes

- ・ 外部機器から本機への LAN 通信は、8 コネクションまで可能です。
- ・ 本機から外部機器への LAN 通信は、12 コネクションまで可能です。

Tips

- ・ 以下は、LAN 通信の初期値です。
 - IP アドレス : 192.168.1.199
 - サブネットマスク : 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ : 192.168.1.200
 - TCP ポート : 1100 (固定)
- ・ 本機は、10GbE の出力コネクタの出力コネクタを経由した LAN 通信に対応しています。詳細は、テクニカルガイドを参照してください。以下は、コネクタごとの初期値です。
 - 10GbE コネクタ: OFF (LAN 通信無効)

プロジェクターの電源制御

本機からプロジェクターの電源を制御する方法について説明します。

Tip

本機からプロジェクターの電源制御以外の制御をしたい場合は、テクニカルガイドを参照してください。

RS-232C 通信で制御する

アドバンスト

以下は、ファンクションボタンでプロジェクターの電源を制御する場合の例です。

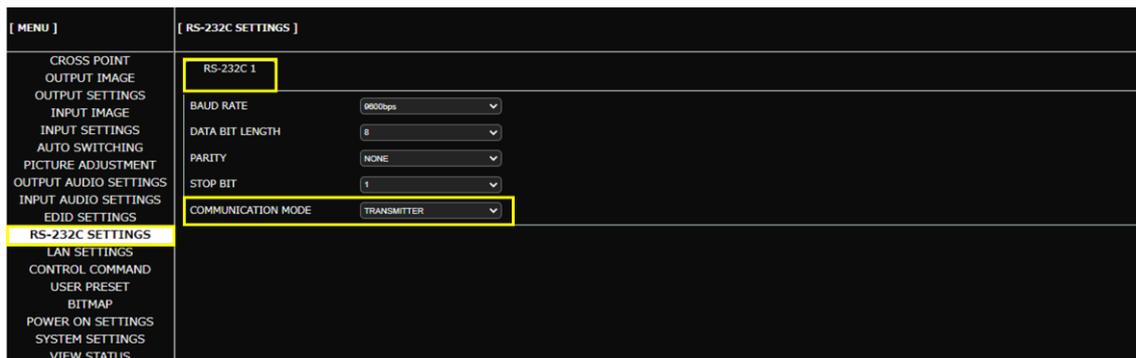


1. “RS-232C 通信を設定する (P.65)”で、本機の RS-232C 通信をプロジェクターと同じ設定にします。
2. 本機の RS-232C 通信を送信モードにします。

フロントパネル

- a) [RS-232C SETTINGS]→[COMMUNICATION MODE]を選択します。
- b) 設定する RS-232C 通信コネクタを選択します。
- c) [TRANSMITTER]を選択します。
- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



3. プロジェクターの電源 ON と OFF の 2 つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- b) 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- c) プロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを以下の内容で登録します。

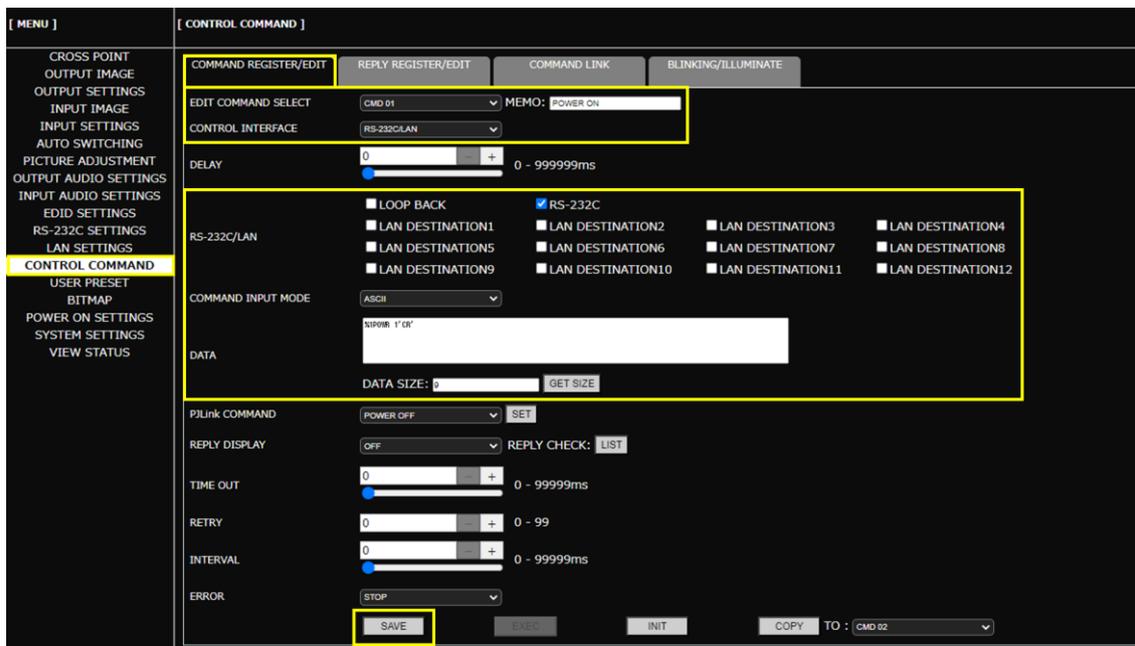
	CMD1	CMD2
I/F	RS-232C/LAN	RS-232C/LAN
RS1	ON	ON
DATA	電源 ON コマンド	電源 OFF コマンド
DATA SIZE	送信データサイズ	送信データサイズ
MEMO	POWER ON	POWER OFF

Notes

- ・ 初期値から変更する設定値のみ記載しています。記載のない設定値は初期値です。
- ・ [DATA]に入力するプロジェクターの電源制御コマンドは、プロジェクターの取扱説明書を参照してください。

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tips

- ・ 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチビューアー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
- ・ 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。

4. プロジェクターの電源を制御するファンクションボタンに[DISPLAY POWER]を割り当てます。

フロントパネル

- [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- [F1]を選択します。
- [F1]に[DISPLAY POWER]を割り当てます。
- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[SYSTEM SETTINGS]
CROSS POINT	BUTTON LOCK TARGET <input checked="" type="checkbox"/> PATTERN <input checked="" type="checkbox"/> MENU <input checked="" type="checkbox"/> F BUTTON <input checked="" type="checkbox"/> STANDBY <input checked="" type="checkbox"/> ALL
OUTPUT IMAGE	TOP PAGE <input type="text" value="NORMAL"/>
OUTPUT SETTINGS	BUTTON HOLD TIME <input type="text" value="F1 BUTTON"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text"/> + 0 - 5000ms
INPUT IMAGE	FUNCTION ASSIGNMENT <input type="text" value="F1"/> <input type="text" value="DISPLAY POWER"/>
INPUT SETTINGS	ALARM <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
AUTO SWITCHING	ADVANCED MENU <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
PICTURE ADJUSTMENT	LUMINANCE CONTROL <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
OUTPUT AUDIO SETTINGS	AUTO UPDATE TIME <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> + 1 - 100s
INPUT AUDIO SETTINGS	BACKUP <input type="text" value="BACKUP"/>
EDID SETTINGS	BACKUP/RESTORE <input type="text" value="ファイルを選択 選択されていません"/>
RS-232C SETTINGS	INITIALIZATION <input type="text" value="NORMAL"/> <input type="text" value="ALL"/>
LAN SETTINGS	
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

5. プロジェクターの電源を制御する制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- b) [F1]を選択します。
- c) [A-1st]と[B-1st]に登録したプロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを関連付けます。

[TOGGLE]: ON

[A-1st] : COMMAND 2

[B-1st] : COMMAND 1

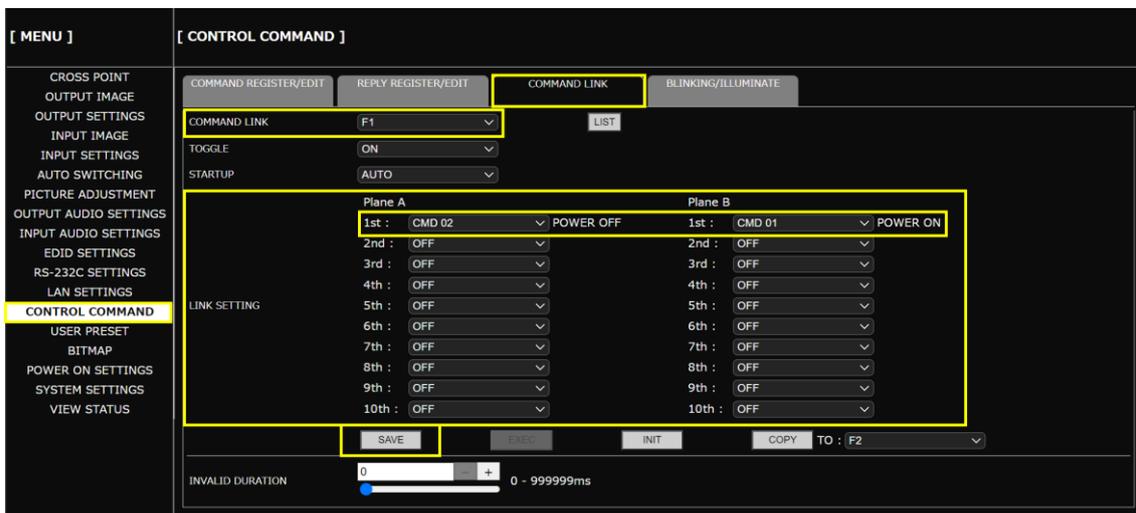
Note

[A-1st]: 点灯状態のファンクションボタンを押すと実行されるコマンド

[B-1st]: 消灯状態のファンクションボタンを押すと実行されるコマンド

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



6. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

消灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 ON

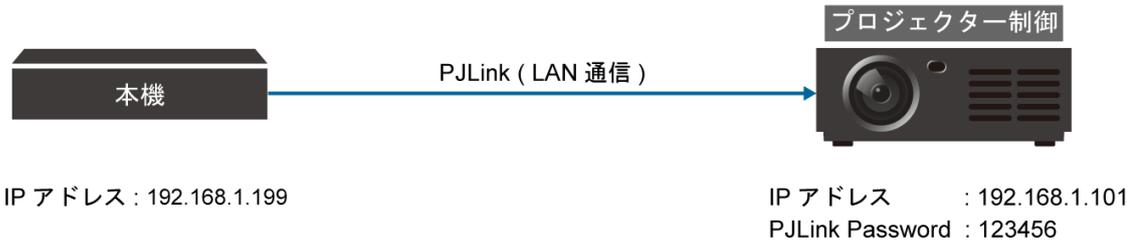
点灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 OFF

Tip

本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

PJLink(LAN 通信)で制御する

アドバンスト



1. “LAN 通信を設定する (P.66)”で本機の LAN 通信を設定します。
2. 制御コマンド送信先の設定をします。

フロントパネル

- a) [LAN SETTINGS]→[COMMAND DESTINATION]を選択します。
- b) [DESTINATION1]を選択します。
- c) プロジェクターの IP アドレス[192.168.1.101]を設定します。
- d) [PJLink]を[ON]に設定します。
- e) プロジェクターの PJLink のパスワード[123456]を設定します。

Note

PJLink のパスワードはプロジェクターの取扱説明書を参照してください。

- f) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[LAN SETTINGS]
CROSS POINT	DESTINATION 1 DESTINATION 2 DESTINATION 3 DESTINATION 4 DESTINATION 5 DESTINATION 6 DESTINATION 7 DESTINATION 8
OUTPUT IMAGE	DESTINATION 9 DESTINATION 10 DESTINATION 11 DESTINATION 12
OUTPUT SETTINGS	REMOTE IP ADDRESS 192 168 1 101 SET
INPUT IMAGE	PJLink ON
INPUT SETTINGS	COMMAND DESTINATION
AUTO SWITCHING	REMOTE PORT NUMBER
PICTURE ADJUSTMENT	PJLink PASSWORD 123456
OUTPUT AUDIO SETTINGS	IP ADDRESS 192 168 1 109 SET
INPUT AUDIO SETTINGS	SUBNET MASK 255 255 255 0 SET
EDID SETTINGS	GATEWAY ADDRESS 192 168 1 200 SET
RS-232C SETTINGS	MAC ADDRESS 00-08-E5-72-00-05
LAN SETTINGS	AUTO DISCONNECT SERVER DISCONNECT 30 1 - 180s
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

Note

PJLink プロトコル接続を使用しない場合は、[PJLink]で[OFF]を選択し、制御コマンド送信先のポート番号を設定します。

3. プロジェクターの電源 ON と OFF の 2 つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- b) 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- c) プロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを以下のように登録します。

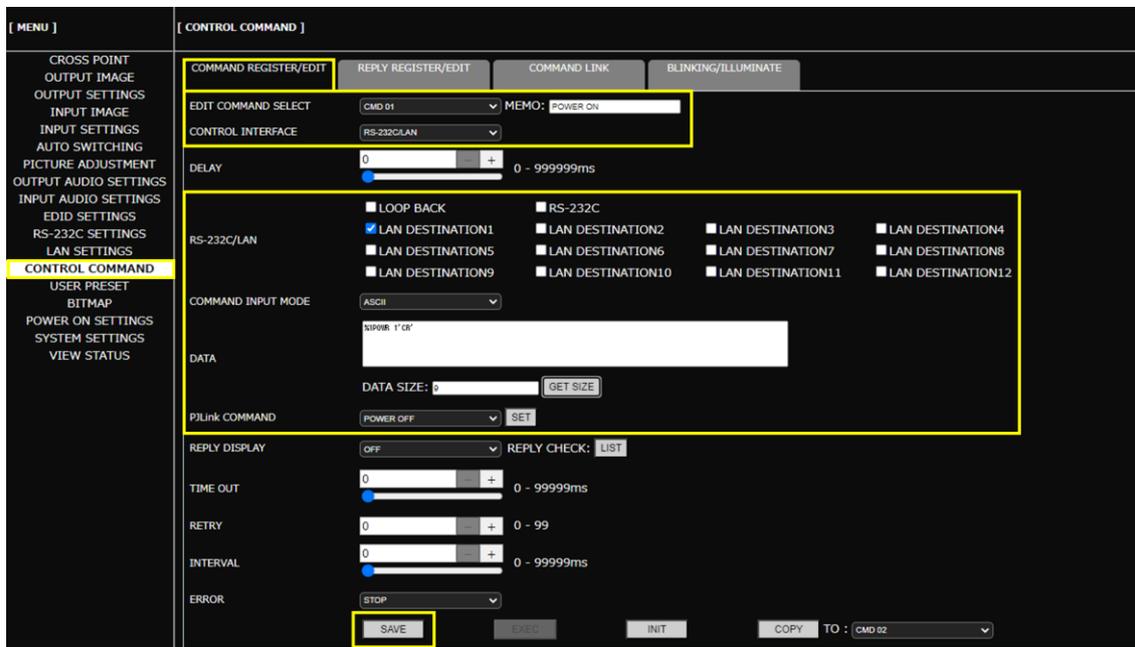
	CMD1	CMD2
I/F	RS-232C/LAN	RS-232C/LAN
[LAN DESTINATION1]	ON	ON
DATA	%1POWR 1↓	%1POWR 0↓
DATA SIZE	9	9
MEMO	POWER ON	POWER OFF

Note

初期値から変更する設定値のみ記載しています。記載のない設定値は初期値です。

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tips

- ・ 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチビューアー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
- ・ 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。

4. プロジェクターの電源を制御するファンクションボタンに[DISPLAY POWER]を割り当てます。

フロントパネル

- [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- [F1]を選択します。
- [F1]に[DISPLAY POWER]を割り当てます。
- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[SYSTEM SETTINGS]
CROSS POINT	BUTTON LOCK TARGET <input checked="" type="checkbox"/> PATTERN <input checked="" type="checkbox"/> MENU <input checked="" type="checkbox"/> F BUTTON <input checked="" type="checkbox"/> STANDBY <input checked="" type="checkbox"/> ALL
OUTPUT IMAGE	TOP PAGE <input type="text" value="NORMAL"/>
OUTPUT SETTINGS	BUTTON HOLD TIME <input type="text" value="0"/> 0 - 5000ms
INPUT IMAGE	FUNCTION ASSIGNMENT <input type="text" value="F1"/> <input type="text" value="DISPLAY POWER"/>
INPUT SETTINGS	ALARM <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
AUTO SWITCHING	ADVANCED MENU <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
PICTURE ADJUSTMENT	LUMINANCE CONTROL <input type="text" value="OFF"/> <input type="text" value="ON"/>
OUTPUT AUDIO SETTINGS	AUTO UPDATE TIME <input type="text" value="5"/> 1 - 100s
INPUT AUDIO SETTINGS	BACKUP <input type="text" value="バックアップ 実行されていません"/>
EDID SETTINGS	BACKUP/RESTORE <input type="text" value="バックアップ 実行されていません"/>
RS-232C SETTINGS	INITIALIZATION <input type="text" value="NORMAL"/> <input type="text" value="ALL"/>
LAN SETTINGS	
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	
BITMAP	
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

5. プロジェクターの電源を制御する制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- b) [F1]を選択します。
- c) [A-1st]と[B-1st]に登録したプロジェクターの電源 ON と OFF の制御コマンドを関連付けます。

[TOGGLE]: ON

[A-1st] : COMMAND 2

[B-1st] : COMMAND 1

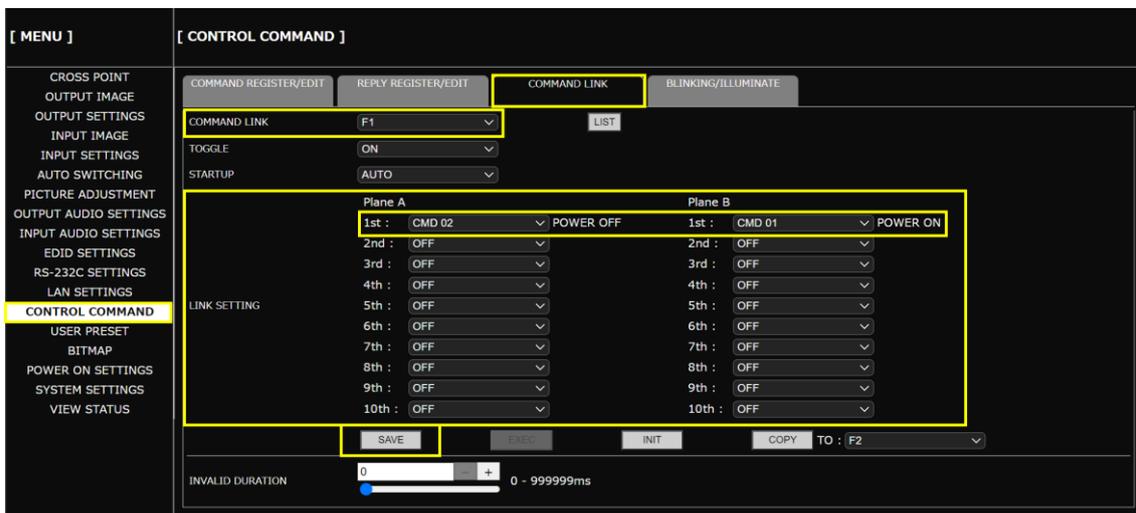
Note

[A-1st]: 点灯状態のファンクションボタンを押す操作

[B-1st]: 消灯状態のファンクションボタンを押す操作

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



6. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

消灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 ON

点灯状態の F1 ボタンを押す : プロジェクターの電源 OFF

Tip

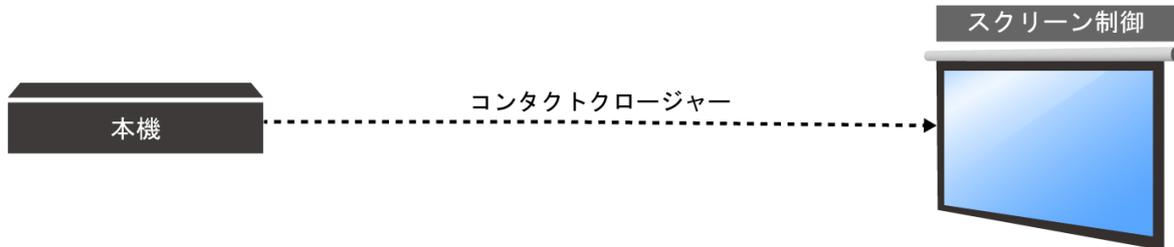
本メニューはアドバンスメニューです。アドバンスメニューの表示方法は、“アドバンスメニューの表示 (P.16)”を参照してください。

スクリーンの制御

本機からスクリーンを制御する方法について説明します。

コンタクトクローザーで制御する

以下は、ファンクションボタンでスクリーンを制御する場合の例です。



1. スクリーンの上昇、下降、および停止の3つの制御コマンドを本機に登録します。

フロントパネル

- a) [CONTROL COMMAND]→[COMMAND REGISTER/EDIT]を選択します。
- b) 登録するコマンド(CMD)の番号を選択します。
- c) スクリーンの上昇、下降、および停止の3つの制御コマンドを以下のように登録します。

	CMD3		CMD4		CMD5	
I/F	CONTACT CLOSURE		CONTACT CLOSURE		CONTACT CLOSURE	
CH1	ON	PULSE: 500 ms	OFF	PULSE: NONE	OFF	PULSE: NONE
CH2	OFF	PULSE: NONE	ON	PULSE: 500 ms	OFF	PULSE: NONE
CH3	OFF	PULSE: NONE	OFF	PULSE: NONE	ON	PULSE: 500 ms
MEMO	SCREEN UP		SCREEN STOP		SCREEN DOWN	

Notes

- ・ 初期値から変更する設定値のみ記載しています。
- ・ [CH1] ~ [CH3]の[PULSE]に設定する値は、スクリーンの取扱説明書を参照してください。

- d) MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

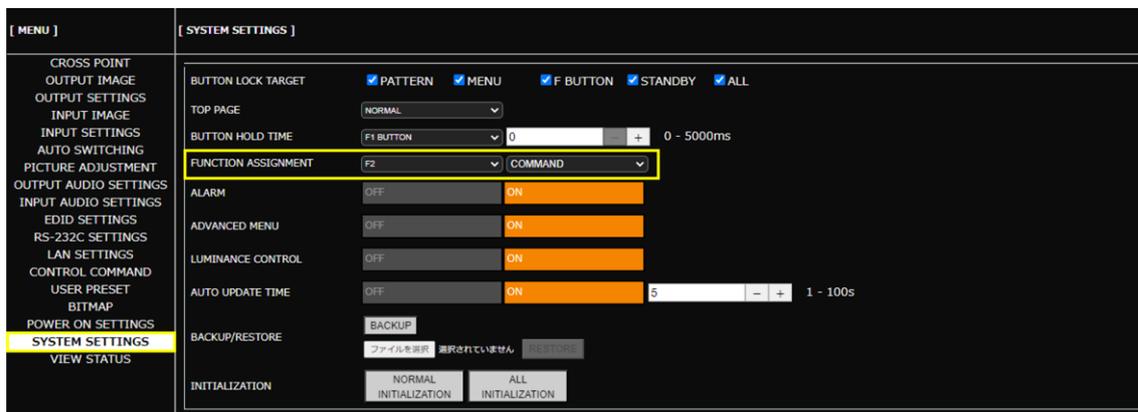
Tips

- ・ 本機に登録する制御コマンドは、弊社ホームページからダウンロードできるマルチビューアー設定ソフトウェアまたは制御コマンド設定ツールを使用して作成することもできます。
 - ・ 本機に登録した制御コマンドを制御機器から実行する場合は、@EXC コマンドを本機に送信します。詳細は、コマンドガイドを参照してください。
2. スクリーンの上昇、下降、および停止を制御するファンクションボタンに[COMMAND]を割り当てます。

フロントパネル

- [SYSTEM SETTING]→[FUNCTION ASSIGNMENT]を選択します。
- [F2] ~ [F4]に[COMMAND]を割り当てます。
- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



3. スクリーンの上昇、下降、および停止の制御コマンドをファンクションボタンに関連付けます。

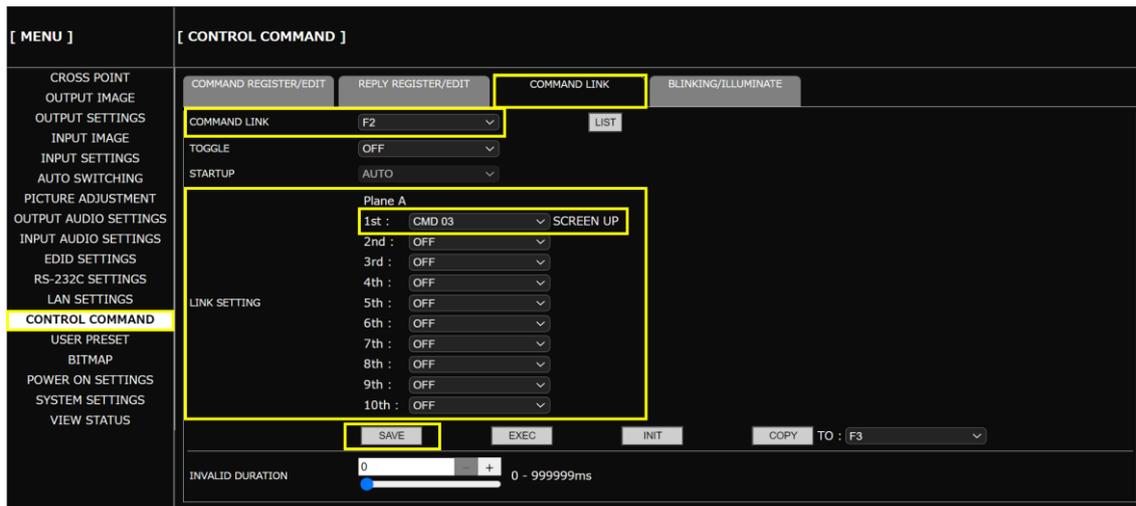
フロントパネル

- [CONTROL COMMAND]→[COMMAND LINK]を選択します。
- [F2] ~ [F4]を選択します。
- [F2] ~ [F4]の[1st]に登録したスクリーンの上昇、下降、および停止の制御コマンドを関連付けます。

	F2	F3	F4
TOGGLE	OFF	OFF	OFF
1st	COMMAND 3	COMMAND 4	COMMAND 5

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



4. 制御コマンドを関連付けしたファンクションボタンを押します。

点灯状態の F2 ボタンを押す : スクリーンの上昇
 点灯状態の F3 ボタンを押す : スクリーンの停止
 点灯状態の F4 ボタンを押す : スクリーンの下降

ステータスの確認

フロントパネルおよび WEB GUI に表示されるステータス画面では、入出力信号の状態やシンク機器の EDID 情報を確認することができます。

映像や音声が出力されない場合は、はじめにステータス情報を確認してください。

入力信号の状態を確認する

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[INPUT STATUS]を選択します。
2. 確認する入力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

入力映像信号の解像度

[IN1 RESOLUTION] ⇄
3840x2160p 59.94Hz

入力映像の信号フォーマット

[IN1 VIDEO FORMAT] ⇄
HDMI 444 8bpc

[IN1 VIDEO FORMAT] ⇄
HDMI 444 8bpc LIMITED

入力音声の信号フォーマット

[IN1 AUDIO FORMAT] ⇄
L-PCM 48kHz 24bit M

HDCP 情報

[IN1 HDCP STATUS] ⇄
HDCP2.2 Type0

すべての入力コネクタの状態

IN1 2 3 4 ⇄
H_A D H

[H] : HDMI 信号が入力されている
[D] : DVI 信号が入力されている
(空欄) : 信号無入力

信号表示右上 [H] : HDCP で保護されている信号
信号表示右下 [A] : 音声が入力されている

WEB GUI



出力信号の状態を確認する

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[OUTPUT STATUS]を選択します。
2. 確認する出力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

出力映像信号の解像度

[OUT1A RESOLUTION] ▲▼
3840x2160p 59.94Hz AAA

出力映像の信号フォーマット

[OUT1A VIDEO FORMAT] ▲▼
HDMI 444 8bpc LIMITED

出力音声の信号フォーマット

[OUT1A AUDIO FORMAT] ▲▼
L-PCM 48kHz 24bit M

HDCP 出力、認証状態

[OUT1A HDCP STATUS] ▲▼
HDCP2.2 Type0

Note

AAAにはエラーコードが表示されます。エラーコードの詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

WEB GUI

[MENU]	[VIEW STATUS]	OUTPUT/INPUT	HARDWARE
CROSS POINT OUTPUT IMAGE OUTPUT SETTINGS INPUT IMAGE INPUT SETTINGS AUTO SWITCHING PICTURE ADJUSTMENT OUTPUT AUDIO SETTINGS INPUT AUDIO SETTINGS EDID SETTINGS RS-232C SETTINGS LAN SETTINGS CONTROL COMMAND USER PRESET BITMAP POWER ON SETTINGS SYSTEM SETTINGS VIEW STATUS	OUTPUT STATUS	SINK DEVICE EDID	INPUT STATUS
	VIDEO STATUS	: HDMI OUT 1A	
	RESOLUTION	: 3840x2160p 59.94Hz	
	HDMI/DVI	: HDMI Mode	
	HDCP AUTHENTICATION	: HDCP 2.2	
	COLOR SPACE	: YCbCr422	
	DEEP COLOR	: 12 bpc	
	COLOR RANGE	: Limited	
	AUDIO STATUS	: HDMI OUT 1A	
	FORMAT	: Linear PCM	
SAMPLING FREQUENCY	: 48kHz		
CHANNEL	: Multi Channel		
BIT LENGTH	: 24 bit		
ERROR STATUS	: HDMI OUT 1A		
VIDEO ERROR	:		
DIGITAL AUDIO ERROR	:		
ANALOG AUDIO ERROR	:		

Note

接続されているシンク機器によっては、本機の出力設定と異なる信号が出力されることがあります。

シンク機器の EDID を確認する

シンク機器が対応している最適な解像度や音声フォーマットなどを確認する場合に有効です。

フロントパネル

1. [VIEW STATUS]→[SINK DEVICE EDID]を選択します。
2. 確認するシンク機器が接続されている出力コネクタを選択します。
3. 確認する情報を選択します。

シンク機器名と推奨解像度

[OUT1A] MONITOR NAME
3840x2160p 594.00MHz

対応映像信号フォーマット

[OUT1A] HDMI
RGB/YCbCr422/444

[OUT1A]
DVI

対応色深度

[OUT1A]
8/10/12 bpc

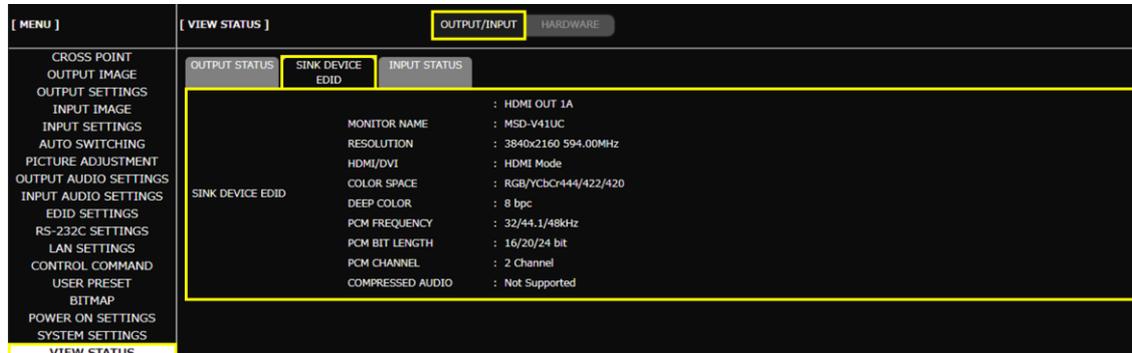
対応音声サンプリング周波数

[OUT1A]
32/44.1/48/96kHz

対応音声信号フォーマット

[OUT1A] 16/20/24BIT
8CHANNEL COMPRESSED

WEB GUI



ユーザープリセットの保存と呼び出し

パターンメモリー、クロスポイントメモリー、およびプリセットメモリーに本機の状態を保存し呼び出す方法について説明します。

以下3種類のユーザープリセットがあります。

- ・ プリセットメモリー : 現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報と出力映像設定などの設定を保存し、任意のタイミングで呼び出します。
- ・ クロスポイントメモリー : 現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報を保存し、任意のタイミングで呼び出します。
- ・ パターンメモリー : 現在のウインドウの表示位置、表示サイズなどの設定を保存し、任意のタイミングで呼び出します。

Tip

ユーザープリセットに保存される設定の詳細は、テクニカルガイドを参照してください。

本機の設定を保存する

現在の設定をプリセットメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE PRESET SETTINGS]を選択します。
2. プリセットメモリー番号を選択します。
3. 名称を入力します。
4. MENU/ENTER ボタンを押します。
保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: [] [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [PRESET]
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [] [LOAD]
INPUT SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME: [] [LOAD]
AUTO SWITCHING	CROSSPOINT : [N/A]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [PRESET1] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [] [SAVE]
EDID SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME: [] [SAVE]
RS-232C SETTINGS	[No.1] NAME: []
LAN SETTINGS	Window1 VIDEO: [N/A] AUDIO: [N/A]
CONTROL COMMAND	Window2 VIDEO: [N/A]
USER PRESET	Window3 VIDEO: [N/A] [SAVE]
BITMAP	Window4 VIDEO: [N/A]
POWER ON SETTINGS	EDIT CROSSPOINT
SYSTEM SETTINGS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
VIEW STATUS	

本機の設定を呼び出す

プリセットメモリーに保存した設定を呼び出します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL PRESET SETTINGS]を選択します。
2. 呼び出すプリセットメモリー番号を選択します。
3. [CROSSPOINT]でプリセットメモリーと同時に呼び出す入力チャンネル選択情報を選択します。
 - [N/A] : 入力チャンネル選択情報を呼び出さない
 - [PRESET] : プリセットメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出す
 - [CP_MEMORY] : クロスポイントメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出す
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、呼び出しの実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : No.1 NAME: LOAD
OUTPUT IMAGE	
OUTPUT SETTINGS	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : No.1 NAME: PRESET1 LOAD
INPUT IMAGE	CROSSPOINT : PRESET
INPUT SETTINGS	
AUTO SWITCHING	RECALL PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: LOAD
PICTURE ADJUSTMENT	PATTERN : No.1
OUTPUT AUDIO SETTINGS	CROSSPOINT : N/A
INPUT AUDIO SETTINGS	
EDID SETTINGS	STORE CROSSPOINT : No.1 NAME: SAVE
RS-232C SETTINGS	
LAN SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : No.1 NAME: SAVE
CONTROL COMMAND	
USER PRESET	STORE PATTERN OUTPUT : OUT1 NAME: SAVE
BITMAP	PATTERN : No.1
POWER ON SETTINGS	
SYSTEM SETTINGS	EDIT CROSSPOINT No.1 NAME: Window1 VIDEO: N/A AUDIO: N/A Window2 VIDEO: N/A Window3 VIDEO: N/A Window4 VIDEO: N/A SAVE
VIEW STATUS	START-UP MEMORY LAST CHANNEL

クロスポイントを保存する

現在の映像と音声の入力チャンネル選択情報をクロスポイントメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE CROSSPOINT]を選択します。
2. クロスポイントメモリー番号を選択します。
3. 名称を入力します。
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [PRESET]
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] [LOAD]
INPUT SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME: []
AUTO SWITCHING	CROSSPOINT : [N/A]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] [SAVE]
EDID SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME: []
RS-232C SETTINGS	[No.1] NAME: []
LAN SETTINGS	Window1 VIDEO: [N/A] AUDIO: [N/A]
CONTROL COMMAND	Window2 VIDEO: [N/A]
USER PRESET	Window3 VIDEO: [N/A]
BITMAP	Window4 VIDEO: [N/A] [SAVE]
POWER ON SETTINGS	EDIT CROSSPOINT
SYSTEM SETTINGS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
VIEW STATUS	

クロスポイントを呼び出す

クロスポイントメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL CROSSPOINT]を選択します。
2. 呼び出すクロスポイントメモリー番号を選択します。
3. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [PRESET]
INPUT IMAGE	OUTPUT : [OUT1]
INPUT SETTINGS	RECALL PATTERN PATTERN : [No.1] NAME: [] [LOAD]
AUTO SWITCHING	CROSSPOINT : [N/A]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] NAME: [] [SAVE]
EDID SETTINGS	PATTERN : [No.1]
RS-232C SETTINGS	CROSSPOINT : [N/A]
LAN SETTINGS	[No.1] NAME: XPOINT1
CONTROL COMMAND	Window1 VIDEO: [N/A] AUDIO: [N/A]
USER PRESET	Window2 VIDEO: [N/A]
BITMAP	Window3 VIDEO: [N/A]
POWER ON SETTINGS	Window4 VIDEO: [N/A] [SAVE]
SYSTEM SETTINGS	EDIT CROSSPOINT
VIEW STATUS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]

レイアウトを保存する

現在のレイアウトをパターンメモリーに保存します。

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[STORE PATTERN]を選択します。
2. パターンメモリー番号を選択します。
3. 名称を入力します。
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、保存の実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : [No.1] NAME: XPOINT1 [LOAD]
OUTPUT IMAGE	RECALL PRESET SETTINGS PRESET NUMBER : [No.1] NAME: PRESET1 [LOAD]
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : [PRESET]
INPUT IMAGE	RECALL PATTERN OUTPUT : [OUT1] [LOAD]
INPUT SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME:
AUTO SWITCHING	CROSSPOINT : [N/A]
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : [No.1] NAME: [] [SAVE]
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : [No.1] NAME: [] [SAVE]
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN OUTPUT : [OUT1] [SAVE]
EDID SETTINGS	PATTERN : [No.1] NAME: Pattern1
RS-232C SETTINGS	[No.1] NAME: []
LAN SETTINGS	Window1 VIDEO: [N/A] AUDIO: [N/A]
CONTROL COMMAND	Window2 VIDEO: [N/A]
USER PRESET	Window3 VIDEO: [N/A] [SAVE]
BITMAP	Window4 VIDEO: [N/A]
POWER ON SETTINGS	EDIT CROSSPOINT
SYSTEM SETTINGS	START-UP MEMORY [LAST CHANNEL]
VIEW STATUS	

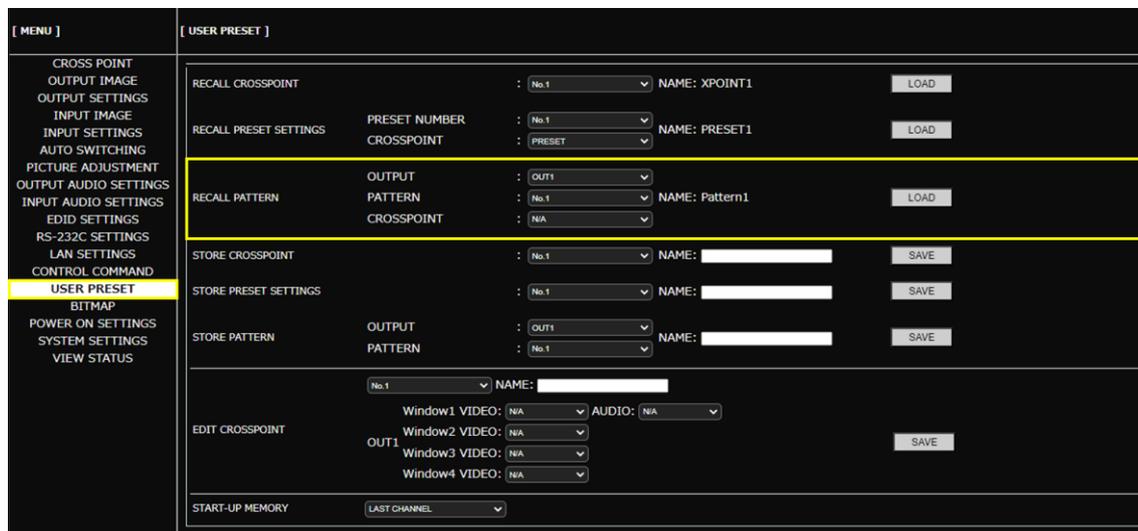
レイアウトを呼び出す(1 ~ 32)

パターンメモリーに保存をしたレイアウトを呼び出します。

フロントパネル

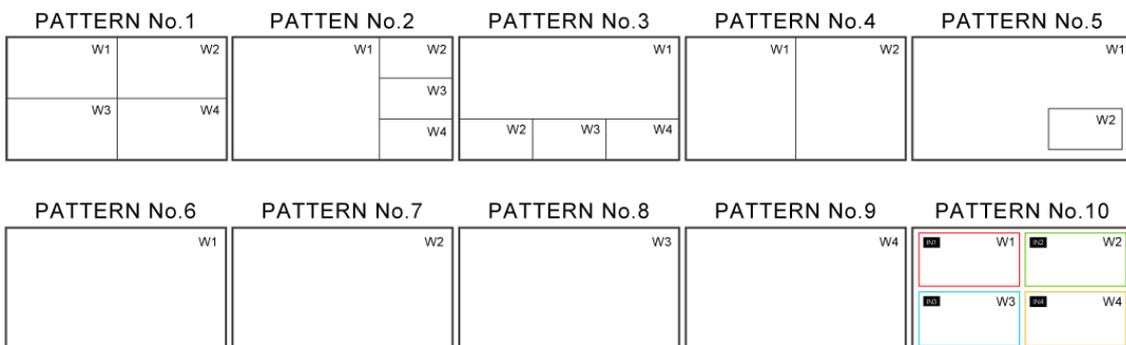
1. [USER PRESET]→[RECALL PATTERN]を選択します。
2. 呼び出すパターンメモリー番号を選択します。
3. [CROSSPOINT]でパターンメモリーと同時に呼び出す入力チャンネル選択情報を選択します。
 [N/A] : 入力チャンネル選択情報を呼び出さない
 [CP_MEMORY] : クロスポイントメモリーに保存した入力チャンネル選択情報を呼び出す
4. MENU/ENTER ボタンを押すと、呼び出しの実行を確認するメッセージが表示されます。
5. [YES]を選択します。
6. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI



Tips

- ・ PATTERN1 ~ PATTERN10 は、フロントパネルのパターン選択ボタンから呼び出すこともできます。
- ・ 初期値では、パターンメモリーに以下のレイアウトが保存されています。



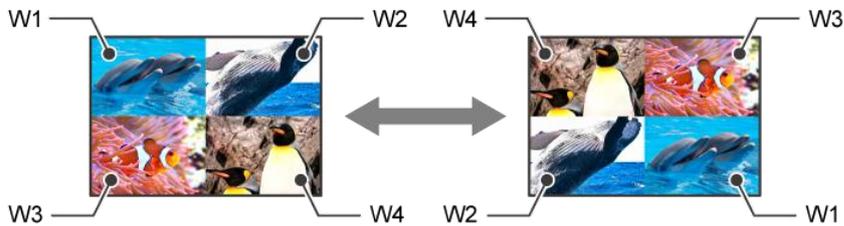
* ウィンドウ枠および
オーバーレイテキスト表示

シームレスでレイアウトを呼び出す

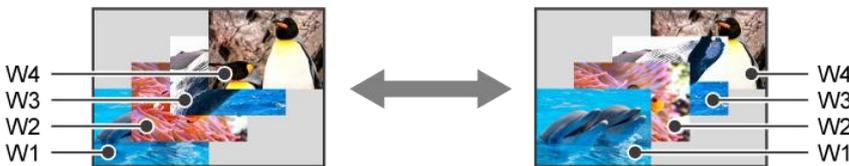
ウィンドウのサイズがレイアウト呼び出し前後ですべて同じ場合、シームレスで呼び出すことができます。それ以外の場合は、数フレームの黒色が出力されます。

シームレスとなる例

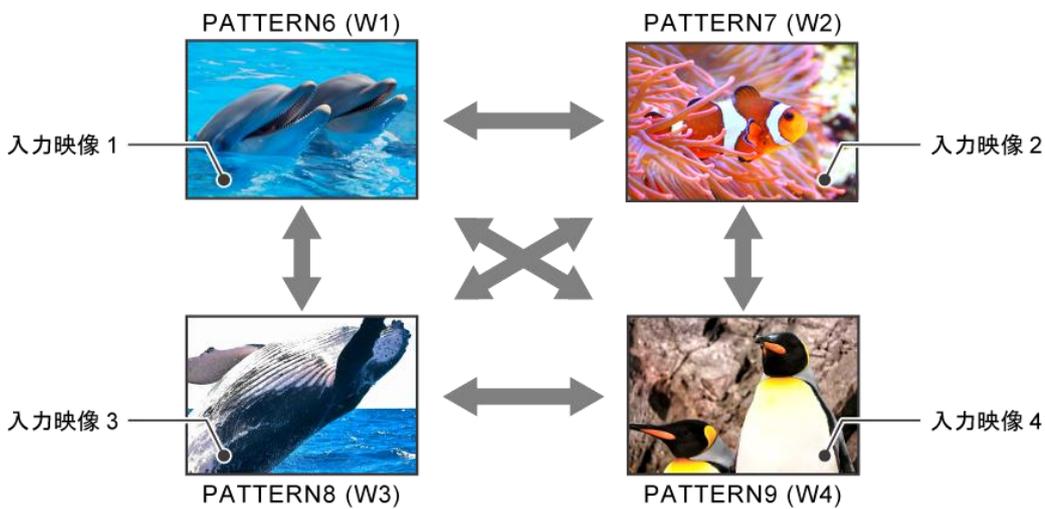
- ・ ウィンドウ位置が変化する場合



- ・ ウィンドウ優先順位が変化する場合



初期値では、PATTERN6 ~ PATTERN9 にシームレスで呼び出しが可能な単画面のレイアウトが保存されています。ウィンドウ 1 ~ ウィンドウ 4 に IN1 ~ IN4 をそれぞれ選択していれば、シームレスで入力映像を切り換えることができます。



レイアウト切り換え時の音声チャンネルを設定する

初期値では、Window1 IN1 の音声が出力されます。

レイアウト切り換え時に音声も連動させる場合、パターンメモリーと同時に呼び出すクロスポイントメモリーを設定します。

音声クロスポイントを作成する

フロントパネル

- [USER PRESET]→[EDIT CROSSPOINT]を選択します。
- クロスポイントメモリー番号を選択します。
- 設定するウインドウを選択します。
- 呼出すクロスポイント情報を設定します。
 - [V] : 映像チャンネル番号 ([N/A]は映像チャンネル情報を出さない)
 - [A] : 音声チャンネル番号 ([N/A]は音声チャンネル情報を出さない)
 - [NAME] : クロスポイントメモリーの名称

設定例

メモリー番号	Window	V	A	NAME
1	OUT1W1	N/A	1	AUDIO IN1
2	OUT1W1	N/A	2	AUDIO IN2
3	OUT1W1	N/A	3	AUDIO IN3
4	OUT1W1	N/A	4	AUDIO IN4

- MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the ICP-V41U. The left sidebar contains a menu with 'USER PRESET' highlighted. The main area displays the 'USER PRESET' configuration page, which is divided into several sections:

- RECALL CROSSPOINT**: PRESET NUMBER: No.1, NAME: AUDIO IN1, [LOAD]
- RECALL PRESET SETTINGS**: PRESET NUMBER: No.1, CROSSPOINT: PRESET, NAME: F, [LOAD]
- RECALL PATTERN**: OUTPUT: OUT1, PATTERN: No.1, NAME: G, CROSSPOINT: N/A, [LOAD]
- STORE CROSSPOINT**: No.1, NAME: AUDIO IN1, [SAVE]
- STORE PRESET SETTINGS**: No.1, NAME: [], [SAVE]
- STORE PATTERN**: OUTPUT: OUT1, PATTERN: No.1, NAME: [], [SAVE]
- EDIT CROSSPOINT**: No.1, NAME: AUDIO IN1, Window1 VIDEO: N/A, AUDIO: IN1, Window2 VIDEO: N/A, Window3 VIDEO: N/A, Window4 VIDEO: N/A, [SAVE]
- START-UP MEMORY**: [LAST CHANNEL]

パターン呼び出し時に音声クロスポイント関連付ける

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[RECALL PATTERN]を選択します。
2. 呼び出すパターンメモリー番号を選択します。
3. 呼び出すクロスポイントメモリー番号を選択します。

設定例

パターンメモリー番号	クロスポイントメモリー番号
9	CP_MEMORY1
10	CP_MEMORY2
11	CP_MEMORY3
12	CP_MEMORY4

4. MENU/ENTER ボタンを押します。

WEB GUI

The screenshot shows the WEB GUI interface for the USER PRESET menu. The left sidebar contains a list of menu items, with 'USER PRESET' highlighted. The main content area is titled '[USER PRESET]' and contains several sections:

- RECALL CROSSPOINT:** PRESET NUMBER: No. 1, NAME: AUDIO IN1, LOAD button.
- RECALL PRESET SETTINGS:** PRESET NUMBER: No. 1, CROSSPOINT: PRESET, NAME: F, LOAD button.
- RECALL PATTERN (highlighted):** OUTPUT: OUT1, PATTERN: No. 9, CROSSPOINT: CROSSPOINT No. 1, NAME: (empty), LOAD button.
- STORE CROSSPOINT:** PRESET NUMBER: No. 1, NAME: AUDIO IN1, SAVE button.
- STORE PRESET SETTINGS:** PRESET NUMBER: No. 1, NAME: (empty), SAVE button.
- STORE PATTERN:** OUTPUT: OUT1, PATTERN: No. 1, NAME: (empty), SAVE button.
- EDIT CROSSPOINT:** PRESET NUMBER: No. 1, NAME: AUDIO IN1, Window1 VIDEO: N/A, AUDIO: IN1, Window2 VIDEO: N/A, Window3 VIDEO: N/A, Window4 VIDEO: N/A, SAVE button.
- START-UP MEMORY:** LAST CHANNEL, dropdown menu.

起動時にユーザープリセットを呼び出す

フロントパネル

1. [USER PRESET]→[START-UP MEMORY]を選択します。
2. 起動時に呼び出すユーザープリセットを選択します。
 - [LAST CHANNEL] : 電源を遮断またはスタンバイにする前の設定を呼び出します。
 - [CROSS POINT] : 選択したクロスポイントを呼び出します。
 - [PRESET MEMORY] : 選択したプリセットを呼び出します。
 - [PATTERN MEMORY] : 選択したパターンメモリーを呼び出します。

WEB GUI

[MENU]	[USER PRESET]
CROSS POINT	RECALL CROSSPOINT : No.1 NAME: XPOINT1 LOAD
OUTPUT IMAGE	PRESET NUMBER : No.1 NAME: PRESET1 LOAD
OUTPUT SETTINGS	CROSSPOINT : PRESET
INPUT IMAGE	OUTPUT : OUT1
INPUT SETTINGS	PATTERN : No.1 NAME: Pattern1 LOAD
AUTO SWITCHING	CROSSPOINT : N/A
PICTURE ADJUSTMENT	STORE CROSSPOINT : No.1 NAME: SAVE
OUTPUT AUDIO SETTINGS	STORE PRESET SETTINGS : No.1 NAME: SAVE
INPUT AUDIO SETTINGS	STORE PATTERN : OUTPUT : OUT1 NAME: SAVE
EDID SETTINGS	PATTERN : No.1
RS-232C SETTINGS	No.1 NAME: SAVE
LAN SETTINGS	Window1 VIDEO: N/A AUDIO: N/A
CONTROL COMMAND	Window2 VIDEO: N/A
USER PRESET	OUT1 Window3 VIDEO: N/A
BITMAP	Window4 VIDEO: N/A
POWER ON SETTINGS	START-UP MEMORY LAST CHANNEL
SYSTEM SETTINGS	
VIEW STATUS	

Note

プリセットメモリーに設定が保存されていない場合は、プリセットメモリーはメニューに表示されません。

設定のバックアップとリストア

設定のバックアップとリストアの方法について説明します。

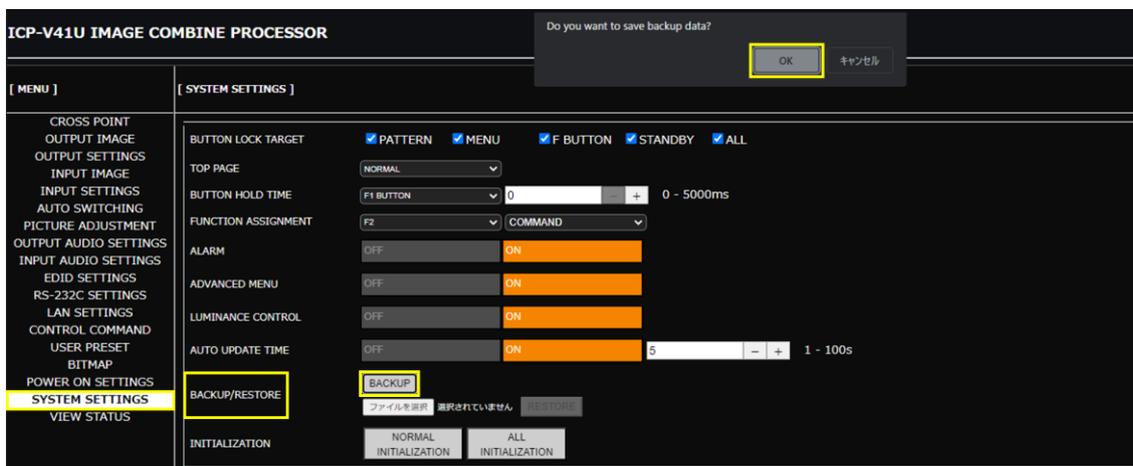
本機のすべての設定は、バックアップファイルとして WEB ブラウザーを使用して PC に保存することができます。

バックアップファイルは、すべての設定をリストアする場合に加えて、ICP-V の別の機器に設定をコピーする場合にも使用できます。

バックアップファイルを保存する

WEB GUI

1. [SYSTEM SETTINGS]を選択します。
2. [BACKUP/RESTORE]で[BACK UP]ボタンを押します。
3. 確認画面で[OK]ボタンを押します。



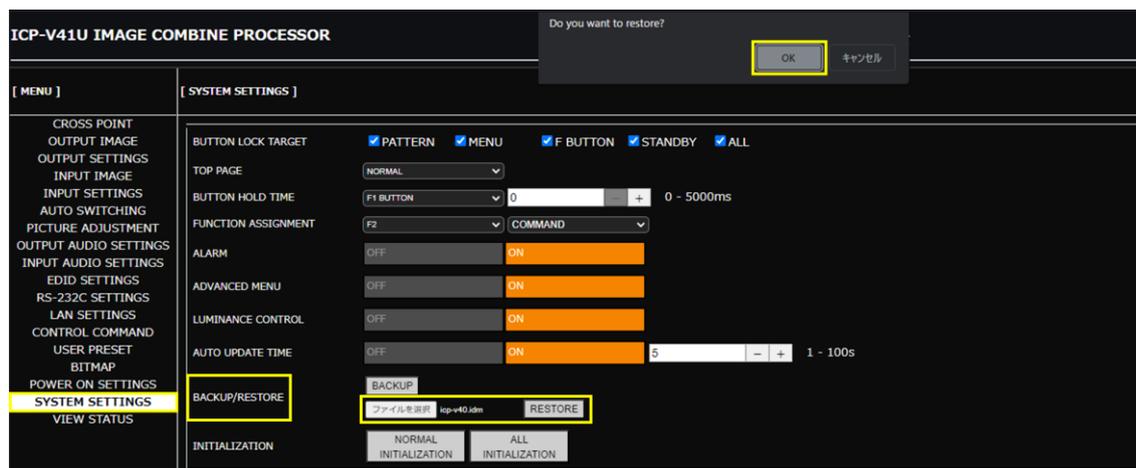
Notes

- ・ バックアップは、拡張子が IDM のファイルで保存されます。
- ・ ビットマップファイルはバックアップできません。

バックアップファイルから設定をリストアする

WEB GUI

1. [SYSTEM SETTINGS]を選択します。
2. [BACKUP/RESTORE]で[ファイルを選択]ボタンを押します。
3. リストアするバックアップファイルを選択します。
4. [RESTORE]ボタンを押します。
5. 確認画面で[OK]ボタンを押します。
リストアが完了すると本機は再起動します。



Note

リストアの実行中は、本機の電源を遮断しないでください。設定内容を失うことがあります。

初期化

設定を初期化する方法について説明します。

すべての設定を工場出荷時に戻す方法と、LAN および RS-232C 以外の設定を工場出荷時に戻す方法があります。

Note

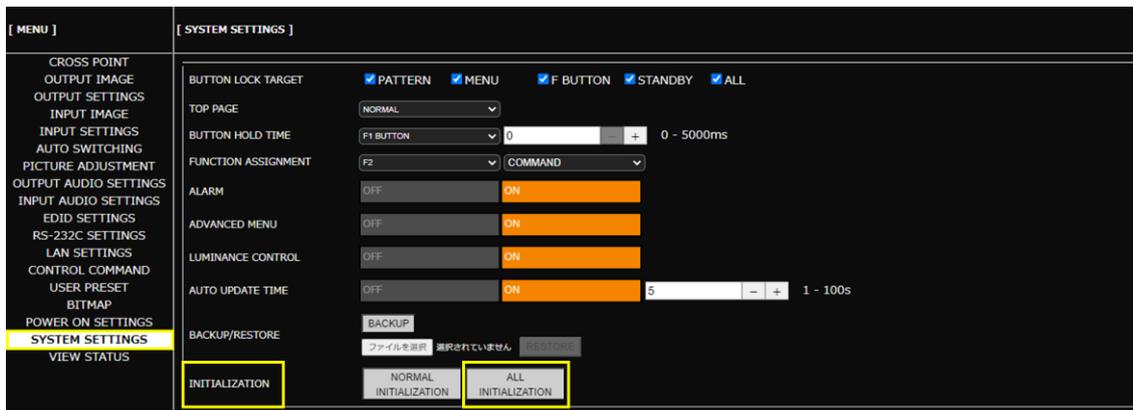
ビットマップファイル以外のすべての設定が初期化されます。設定のリストアが必要な場合は、初期化実行の前にバックアップを取得してください。

すべての設定を初期化する

フロントパネル

1. MENU/ENTER ボタンを押しながら本機を起動します。
2. フロントディスプレイに[Initializing...]が表示されていることを確認します。
3. MENU/ENTER ボタンを離します。

WEB GUI

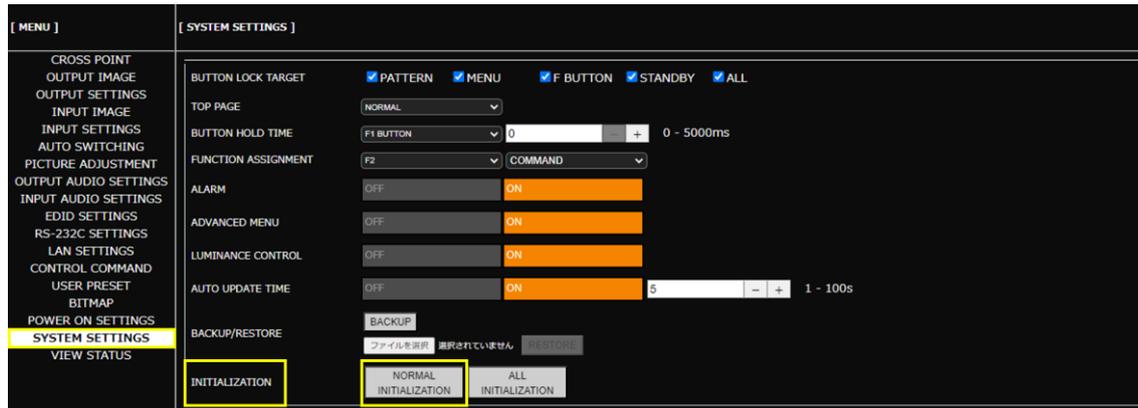


Note

フロントディスプレイに[Initializing...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。正常に初期化されないことがあります。

通信設定以外を初期化する

WEB GUI



Note

フロントディスプレイに[Initializing...]と表示されている間は、本機の電源を遮断しないでください。正常に初期化されないことがあります。

その他の機能

知っているると便利な機能について説明します。

シンク機器のスタンバイ機能を利用する

アドバンスト

一定期間信号入力がないとスタンバイ状態になるシンク機器を接続している場合、本機から信号出力を電氣的に切断することで、シンク機器をスタンバイ状態にすることができます。

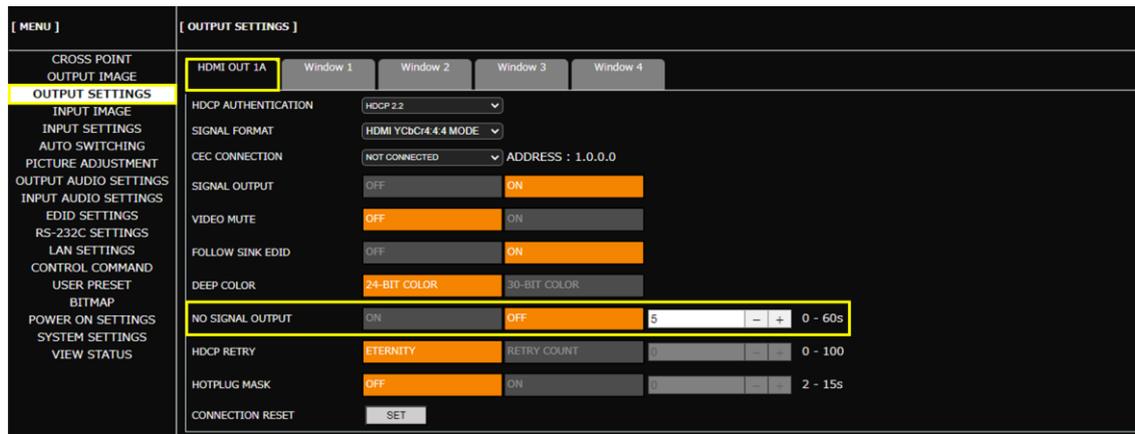
入力チャンネルに[OFF]を選択したとき、または入力映像信号が消失したときに信号出力を電氣的に切断する設定をします。

映像信号が入力されていない入力チャンネルを選択しているとき、または入力チャンネルに[OFF]を選択したときに信号出力を電氣的に切断する設定をします。

フロントパネル

1. [OUTPUT SETTINGS]→[NO SIGNAL OUTPUT]を選択します。
2. 設定する出力コネクタを選択します。
3. 信号出力を電氣的に切断するまでの時間を設定します。(初期値: ON)

WEB GUI



Note

信号出力を電氣的に切断する詳細条件は、テクニカルガイドを参照してください。

Tips

- ・ 入力映像信号にかかわらず、信号出力を電氣的に切断する方法はテクニカルガイドを参照してください。
- ・ 本メニューはアドバンストメニューです。アドバンストメニューの表示方法は、「アドバンストメニューの表示 (P.16)」を参照してください。

正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因になるようなものはありませんか？

また、本機に接続されている機器に原因があることもあるため、そちらの取扱説明書も参照してください。

WEB 内に記載の FAQ もご確認ください。

www.idk.co.jp/support/faq



それでも問題が解決しない場合は、以下の点を事前に確認し、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・ すべてのチャンネルで同じ現象が発生しますか？
- ・ 本機を介さずに接続したときは、正常に動作しますか？

マルチビューアー

ICP-V41U

オペレーションガイド



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央7-9-1
TEL : 046-200-0764 FAX : 046-200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL : 06-6192-0764 FAX : 06-6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-9-2 八百治センタービル3階
TEL : 092-431-0764 FAX : 092-431-0906

e-mail info@idk.co.jp URL www.idk.co.jp